

(様式第10)

R7がん研究第031号

厚生労働大臣 殿

令和 7 年 10 月 2 日

開設者名 公益財団法人がん研究会

理事長 浅野 敏雄

公益財団法人がん研究会 有明病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和6年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒135-8550 東京都江東区有明三丁目8番31号
氏名	公益財団法人がん研究会

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

公益財団法人がん研究会 有明病院

3 所在の場所

〒〒135-8550 東京都江東区有明三丁目8番31号
電話(03) 3520 -0111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
○	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科							
内科と組み合わせた診療科名等							
○	1呼吸器内科	○	2消化器内科		3循環器内科		4腎臓内科
	5神経内科	○	6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
○	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科				11リウマチ科
診療実績							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科							
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科	○	3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科		6心臓血管外科		7内分泌外科		8小児外科
診療実績							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科		2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科		7産婦人科		8産科
○	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科		12放射線科
○	13放射線診断科	○	14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科				有			
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	乳腺内科	2	腫瘍内科	3	疼痛緩和内科	4	形成外科	5	頭頸部外科
6	病理診断科	7	脳腫瘍外科	8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
0	0	0	0	644	644

(単位: 床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	385	134	410.2	看護補助者	54	診療エックス線技師	0
歯科医師	6	3	6.6	理学療法士	10	臨床検査技師	98
薬剤師	78	2	78.3	作業療法士	3	衛生検査技師	0
保健師	0	0	0	視能訓練士	2	その他	0
助産師	0	0	0	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師	0
看護師	848	5	851.7	臨床工学士	13	医療社会事業従事者	12
准看護師	2	0	2	栄養士	0	その他の技術員	74
歯科衛生士	5	0	5	歯科技工士	0	事務職員	188
管理栄養士	20		20	診療放射線技師	96	その他の職員	49

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	32	眼科専門医	1
外科専門医	71	耳鼻咽喉科専門医	8
精神科専門医	3	放射線科専門医	20
小児科専門医	0	脳神経外科専門医	2
皮膚科専門医	3	整形外科専門医	8
泌尿器科専門医	7	麻酔科専門医	39
産婦人科専門医	26	救急科専門医	5
		合計	225

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (佐野 武) 任命年月日 2018 年 7 月 1 日

医療安全管理委員会 委員
2016年 7月 1日 ~ 2018年 6月 30日 (2年間)

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	523.1 人	0 人	523.1 人
1日当たり平均外来患者数	1754 人	37 人	1791 人
1日当たり平均調剤数	1,545		剤
必要医師数	153.0875		人

必要歯科医師数	2	人
必要薬剤師数	20	人
必要(准)看護師数	320	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	422.31 m ²	SRC	病床数	10 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	209.89	m ²	病床数	26 床
	[移動式の場合]	台数	0	台		
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	47.06 m ²			
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	416.7 m ²	SRC	(主な設備) 日立ラボスペクト008、日立ラボスペクト006、アーキテクトi2000、ルミパルスプレスト、ルミパルスG1200、ラボフレックス3500、コールターDXH、STA-R、US-3100R、FOBIT-WAKO			
細菌検査室	78.25 m ²	SRC	(主な設備) マイクロスキャンWalkAway96、コバスTaqMan48			
病理検査室	378 m ²	SRC	(主な設備) 免疫染色装置、FISH解析装置、DISH解析装置、HE自動染色装置、OSNA法による転移診断装置、PCR装置、PTーPCR装置、シークエンサー(Sanger型)など			
病理解剖室	72.25 m ²	SRC	(主な設備) 写真診断装置、ストライカーなど			
研究室	1,519 m ²	SRC	(主な設備) 遺伝子解析システム、サーマルサイクラーなど			
講義室	370 m ²	SRC	室数	3 室	収容定員	272 人
図書室	161.38 m ²	SRC	室数	1 室	蔵書数	22,000 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	87.8	%	逆紹介率	95.8	%
算出根拠	A: 紹介患者の数			9,348	人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			11,411	人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数			1,108	人
	D: 初診の患者の数			11,911	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
長尾 能雅	名古屋大学医学部附属 病院 患者安全推進部 教授	○	医療安全に関する業務 及び研究への従事経験 を有するため	無	1(医師)
大滝 恭弘	帝京大学医療共通教育 研究センター教授		法曹資格を有し、医療 安全に関する研究を 行っているため	無	1(弁護士)
瀧澤 邦夫	有明友の会理事		患者団体の理事を務め ており、医療を受ける者 の立場の代表として。	無	2(医療を受ける者)

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
公益財団法人がん研究会有明病院ホームページにて公表 https://www.ifcr.or.jp/hospital/safety_audit/index.html	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

[illegible]

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法 腭臓がん(遠隔転移しておらず、かつ、腹膜転移を伴うものに限る。)	2人
ゲムシタビン静脈内投与、ナブーパクリタキセル静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法	0人
術前のゲムシタビン静脈内投与及びナブーパクリタキセル静脈内投与の併用療法 切除が可能な腭臓がん(七十歳以上八十歳未満の患者に係るものに限る。)	1人
アスピリン経口投与療法 家族性大腸腺腫症	6人
食道表在癌に対するアルゴンプラズマ併用高周波凝固焼灼療法	1人
アナモレリン塩酸塩経口投与 体重減少 (食道がんに対する食道亜全摘移管再建術若しくは胃全摘手術を実施したものに限る。)	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
先進医療の種類の合計数	6種
取扱い患者数の合計(人)	10人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類の合計数	0種
取り扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
1	重症筋無力症	1	56		
2	神経線維腫症	7	57		
3	全身性エリテマトーデス	3	58		
4	特発性血小板減少性紫斑病	6	59		
5	下垂体前葉機能低下症	3	60		
6	原発性硬化性胆管炎	1	61		
7	原発性胆汁性肝硬変	1	62		
8	パージャール病	1	63		
9	潰瘍性大腸炎	12	64		
10	IgG4関連疾患	2	65		
11	クローンカイト・カナダ症候群	1	66		
12	シェーグレン症候群	2	67		
13	特発性間質性肺炎	2	68		
14	全身性アミロイドーシス	1	69		
15	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	1	70		
16	下垂体前葉機能低下症	1	71		
17	特発性拡張型心筋症	1	72		
18			73		
19			74		
20			75		
21			76		
22			77		
23			78		
24			79		
25			80		
26			81		
27			82		
28			83		
29			84		
30			85		
31			86		
32			87		
33			88		
34			89		
35			90		
36			91		
37			92		
38			93		
39			94		
40			95		
41			96		
42			97		
43			98		
44			99		
45			100		
46			101		
47			102		
48			103		
49			104		
50			105		
51			106		
52			107		
53			108		
54			109		
55			110		

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	17
合計患者数(人)	46

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・初診料(医科)の注16及び初診料(歯科)の注15に規定する医療DX推進体制整備加算	・入退院支援加算1—入院時支援加算
・特定機能病院入院基本料 7:1 —告示注11(入院栄養管理体制加算)	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・救急医療管理加算	・認知症ケア加算1
・診療録管理体制加算1	・特定集中治療室管理料3—早期離床・リハビリテーション加算
・医師事務作業補助体制加算1 25:1	・特定集中治療室管理料3—早期栄養介入管理加算
・急性期看護補助体制加算 25:1—告示注2 夜間100対1	・緩和ケア病棟入院料1
・急性期看護補助体制加算 25:1—告示注3 夜間看護体制加算	・初診料(歯科)の注1に掲げる基準
・急性期看護補助体制加算 25:1—告示注4 看護補助体制充実加算	・歯科外来診療医療安全対策加算1
・看護職員夜間配置加算 12:1配置加算1	・歯科外来診療感染対策加算1
・療養環境加算	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1	・
・無菌治療室管理加算2	・
・放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	・
・緩和ケア診療加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染対策向上加算1—告示注2 指導強化加算	・
・重症患者初期支援充実加算	・
・患者サポート体制充実加算	・
・報告書管理体制加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・後発医薬品使用体制加算3	・
・病棟薬剤業務実施加算1	・
・病棟薬剤業務実施加算2	・
・データ提出加算2及び4	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・外来栄養食事指導料の注2に規定する基準	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・外来栄養食事指導料の注3に規定する基準	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
・がん性疼痛緩和指導管理料	・胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるものに限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・がん患者指導管理料イ	・肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
・がん患者指導管理料ロ	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・がん患者指導管理料ハ	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・がん患者指導管理料ニ	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・外来緩和ケア管理料	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)
・小児運動器疾患指導管理料	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・婦人科特定疾患治療管理料	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
・夜間休日救急搬送医学管理料―救急搬送看護体制加算	・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開副腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
・外来放射線照射診療料	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・外来腫瘍化学療法診療料1―連携充実加算	・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・外来腫瘍化学療法診療料1―がん薬物療法体制充実加算	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・療養・就労両立支援指導料―相談支援加算	・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・がん治療連携計画策定料	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
・薬剤管理指導料	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・腹腔鏡下肝切除術
・医療機器安全管理料1	・腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・医療機器安全管理料2	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・歯科治療時医療管理料	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術

・遺伝学的検査	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・BRCA1／2遺伝子検査	・腹腔鏡下腓頭部腫瘍切除術
・がんゲノムプロファイリング検査	・腹腔鏡下腓頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・腹腔鏡下腓中央切除術
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・検体検査管理加算(Ⅰ)	・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・国際標準検査管理加算	・内視鏡的小腸ポリープ切除術
・遺伝カウンセリング加算	・骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・ロービジョン検査判断料	・腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
・前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・画像診断管理加算1	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・画像診断管理加算2	・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・人工尿道括約筋植込・置換術
・CT撮影及びMRI撮影	・精巣温存手術
・冠動脈CT撮影加算	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・心臓MRI撮影加算	・女子外性器悪性腫瘍手術センチネルリンパ節生検加算
・乳房MRI撮影加算	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・外来化学療法加算1	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・無菌製剤処理料	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・ストーマ合併症加算	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅱ)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる処置の休日加算1
・摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算2	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる処置の時間外加算1
・がん患者リハビリテーション料	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる処置の深夜加算1
・リンパ浮腫複合的治療料	・胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)(医科点数表第2章第10部手術の通則の16に規定する手術)

・歯科口腔リハビリテーション料2	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
・硬膜外自家血注入	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
・導入期加算1	・輸血管理料Ⅰ
・CAD／CAM冠及びCAD／CAMインレー	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・センチネルリンパ節加算	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・自家脂肪注入	・歯周組織再生誘導手術
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・麻酔管理料(Ⅰ)
・四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に規定する処理骨再建加算	・麻酔管理料(Ⅱ)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。))	・放射線治療専任加算
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・外来放射線治療加算
・骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法(一連として)	・高エネルギー放射線治療
・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	・1回線量増加加算
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料の施設基準	・強度変調放射線治療(IMRT)
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)	・画像誘導放射線治療(IGRT)
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	・体外照射呼吸性移動対策加算
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・定位放射線治療
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	・定位放射線治療呼吸移動対策加算
・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)	・画像誘導密封小線源治療加算
・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法	・デジタル病理画像による病理診断
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)(乳がんセンチネルリンパ節加算1)	・病理診断管理加算2
・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)(乳がんセンチネルリンパ節加算2)	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・乳腺悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法	・口腔病理診断管理加算2
・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・看護職員処遇改善評価料62
・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・外来・在宅ベースアップ評価料(1)
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)	・歯科外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)

・入院ベースアップ評価料103	
-----------------	--

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	年4回	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	6件
	剖検率(%)	1.59%

)1 「臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況」欄については、選択肢の1・2どちらかを選択する(○で囲む等)こ
(注)2 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
進行軟部肉腫に対する二次治療における標準治療の開発のための研究	高橋俊三(分担)	有明病院 総合腫瘍科ゲノム診療部	400,000	委 AMED委託費(革新的がん)
早期非小細胞肺癌に対する体幹部定位放射線治療線量増加ランダム化比較試験	徳増健二(分担)	有明病院 放射線治療部	100,000	委 AMED委託費(革新的がん)
前立腺がん高特異度二次検査マーカーPSA G-Indexに対する前臨床試験	植田幸嗣	がんプレジジョン医療研究センター-がんオーダー型医療開発プロジェクト	19,000,000	委 AMED委託費(革新的がん)
切除不能進行・再発大腸がんを対象としたタンキラーゼ阻害剤の医師主導第Ⅲ相治験	清宮啓之	がん化学療法センター 分子生物治療研究部	47,000,000	委 AMED委託費(革新的がん)
進行胃癌を対象とした大網切除に対する大網温存の非劣性を検証するランダム化比較第Ⅲ相試験	大橋学(分担)	がん化学療法センター-がんオーダー型医療開発プロジェクト	300,000	委 AMED委託費(革新的がん)
未治療高腫瘍量濾胞性リンパ腫に対するオビヌツズマブ+ベンダムスチン療法後のオビヌツズマブ維持療法の省略に関するランダム化第Ⅲ相試験	寺内隆司(分担)	有明病院 画像診断センター	1,000,000	委 AMED委託費(革新的がん)
切除不能肺癌に対する標準治療の確立に関する研究	尾阪将人(分担)	有明病院 消化器内科肝胆膵内科	1,000,000	委 AMED委託費(革新的がん)
インターフェロン応答異常によるがん免疫療法耐性機構の解明と新規耐性克服併用療法の開発	片山量平	がん化学療法センター基礎研究部	17,480,000	委 AMED委託費(革新的がん)
進行直腸癌に対する導入/強化化学療法を併用した化学放射線療法後の待機療法に関する多施設ランダム化第Ⅲ相試験	秋吉高志	有明病院 大腸外科	9,100,000	委 AMED委託費(革新的がん)
乳がん患者の乳がん切除後疼痛症候群に対するスマホ精神療法の開発：革新的な分散型基盤を用いた多機関共同無作為割付比較試験	植弘奈津恵(分担)	有明病院 乳腺外科	200,000	委 AMED委託費(革新的がん)
局所進行胃癌に対する術前化学療法の有効性を検証する第Ⅲ相試験	布部創也(分担)	有明病院 消化器センター-消化器外科 胃外科	600,000	委 AMED委託費(革新的がん)
cT1-4aN0-3胃癌におけるロボット支援下胃切除術の腹腔鏡下胃切除術に対する優越性を検証するランダム化比較試験	幕内梨恵(分担)	有明病院 消化器センター-消化器外科 胃外科	500,000	委 AMED委託費(革新的がん)
薬物療法により臨床的完全奏効が得られたHER2陽性原発性乳癌に対する非切除療法の有効性に関する単群検証的試験	尾崎由記範(分担)	有明病院 乳腺センター 乳腺内科	307,693	委 AMED委託費(革新的がん)
悪性リンパ腫における遺伝子異常・免疫微小環境の全体像および臨床的意義の統合的解明	竹内賢吾(分担)	がん研究所 分子標的病理プロジェクト	1,350,000	委 AMED委託費(革新的がん)
がん患者のオピオイド不応の神経障害性疼痛への標準的薬物療法の開発：国際共同試験ならびに普及実装に向けた研究	松本慎久(分担)	有明病院 緩和治療科	100,000	委 AMED委託費(革新的がん)
難治性がん(白血病等)の全ゲノム配列データおよび臨床情報等の収集と解析に基づく創薬等のイノベーションの創出をめざした研究	竹内賢吾(分担)	がん研究所 分子標的病理プロジェクト	100,000	委 AMED委託費(革新的がん)
高齢者多発性骨髄腫に対する標準治療の確立と治療効果・耐性獲得に関わる分子基盤の探索(ICOG191)	丸山大	有明病院 血液腫瘍科	9,800,000	委 AMED委託費(革新的がん)
エリブリン投与に伴う抗腫瘍免疫活性化の分子機序を基盤とした奏効マーカーの確立	北嶋俊輔	がん研究所 細胞生物部	10,000,000	委 AMED委託費(革新的がん)
高齢卵巣がん患者に最適な治療選択を行うための開発研究	温泉川真由	有明病院 婦人科	7,100,000	委 AMED委託費(革新的がん)
高リスク後腹膜肉腫に対する標準治療法開発のための国際多施設共同臨床試験	阿江啓介(分担)	有明病院 整形外科	600,000	委 AMED委託費(革新的がん)
濾胞性リンパ腫の微小環境ネットワークおよび臨床的特性の解明	竹内賢吾(分担)	がん研究所 分子標的病理プロジェクト	2,000,000	委 AMED委託費(革新的がん)
高齢者切除可能肺癌に対する術前ゲムタビン+S-1療法と術前ゲムタビン+ナパバクリタキセル療法のランダム化比較第Ⅲ相試験	尾阪将人(分担)	有明病院 肝胆膵内科	1,000,000	委 AMED委託費(革新的がん)
進行食道胃接合部腺癌に対する標準的な周術期治療の開発研究	渡邊雅之(分担)	有明病院 消化器外科	200,000	委 AMED委託費(革新的がん)
未治療低腫瘍量濾胞性リンパ腫に対するリツキシマブ早期介入に関するランダム化比較第3相試験	丸山大(分担)	有明病院 血液腫瘍科	200,000	委 AMED委託費(革新的がん)
革新的がん医療実用化研究事業の戦略的サポートを行う機関の構築と運営	中武真由香(分担)	がん研究所 所長研究室	500,000	委 AMED委託費(革新的がん)
胃癌食道癌術後患者に対するアナモレリンの臨床効果に関するランダム化比較試験	渡邊雅之(分担)	有明病院 消化器外科	800,000	委 AMED委託費(革新的がん)
がん細胞強制休眠による再発転移の予防戦略	宮田憲一(分担)	がん研究所 がんエビゲノムプロジェクト	800,000	委 AMED委託費(革新的がん)
周術期乳癌を対象とした新規薬剤開発に関する持続可能なプラットフォーム試験	尾崎由記範(分担)	乳腺内科	1,153,846	委 AMED委託費(革新的がん)
造血器腫瘍臨床におけるクニカハバVGSのfeasibilityと有用性の検討	丸山大(分担)	有明病院 血液腫瘍科	400,000	委 AMED委託費(革新的がん)
小児・AYA世代のGD2陽性難治性固形がんに対する機能強化型CAR-T第Ⅲ相医師主導治験	北野滋久(分担)	有明病院 先端医療開発科	1,000,000	委 AMED委託費(革新的がん)
中枢神経系再発高リスクの未治療びまん性大細胞型B細胞リンパ腫に対する中枢神経系再発予防を組み入れた治療法のランダム化第Ⅲ相試験	田口千蔵(分担)	有明病院 放射線治療部	1,500,000	委 AMED委託費(革新的がん)
未治療末梢性T細胞リンパ腫に対する初回導入化学療法後の完全奏効例に対する自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法のランダム化第Ⅲ相試験(ICOG2210)	山内寛彦(分担)	有明病院 血液腫瘍科	500,000	委 AMED委託費(革新的がん)
炎症誘発細胞除去による100歳を目指した健康寿命延伸医療の実現	上野貴之(分担)	明病院 乳腺センター	8,000,000	委 AMED委託費(革新的がん)
全ゲノム情報等の高精度かつ迅速な患者還元および新たな創薬等の創出を通じた高度化がんプレジジョン医療の実践	上野貴之	有明病院 先端医療開発センター-がんゲノム医療開発部	223,477,579	委 AMED委託費(革新的がん・全ゲノム)
卵巣がんに対するゲノム医療の実装と新規治療戦略構築のための全ゲノムおよびオミックス解析研究	森誠一	がんプレジジョン医療研究センター-次世代がん研究チーム医療プロジェクト	1,115,385	委 AMED委託費(革新的がん・全ゲノム)
肺がん等の全ゲノム配列データおよび臨床情報等の収集と解析に基づく創薬等のイノベーションの創出のための基盤研究	片山量平(分担)	がん化学療法センター基礎研究部	700,000	委 AMED委託費(革新的がん・全ゲノム)
オールジャパン体制による食道がん等消化器難治がんの全ゲノム配列データ及び臨床情報による先端的創薬開発・全ゲノム医療基盤構築	渡邊雅之(分担)	有明病院 消化器外科	900,000	委 AMED委託費(革新的がん・全ゲノム)
がん全ゲノム解析等の臨床的有用性の検証、および、患者還元の体制構築に関する研究	北野滋久(分担)	有明病院 先端医療開発科	4,692,308	委 AMED委託費(革新的がん・全ゲノム)
PI3K阻害剤のプロドラッグ化による新規肉腫治療薬開発に関する研究	旦懷吾	がん化学療法センター分子薬理部	73,000,000	委 AMED委託費(厚労系他)
切除可能な高頻度マイクロサテライト不安定性結腸直腸癌に対して免疫チェックポイント阻害薬を用いた根治治療の有効性・安全性を検討する研究	秋吉高志(分担)	有明病院 大腸外科	3,000,000	委 AMED委託費(厚労系他)
子宮内膜異型増殖症・子宮体癌妊娠性温存療法に対する外ホルモンの適応拡大にむけた多施設共同医師主導治験	温泉川真由(分担)	有明病院 婦人科	100,000	委 AMED委託費(厚労系他)
日・ロシアにおける遺伝性乳癌の遺伝学的特徴の比較検討及び乳房MRIによる早期乳癌の検出能に関する研究	春山優理恵(分担)	有明病院 乳腺外科	100,000	委 AMED委託費(厚労系他)
がん血管新生を促進する細胞内輸送促進経路の阻害剤の探索	田中美和	がん研究所 がんエビゲノムプロジェクト	2,100,000	委 AMED委託費(厚労系他)
ゲノムワイドメタボパズル解析による個別化がん免疫療法標的ライブラリの構築	植田幸嗣	がんプレジジョン医療研究センター-がんオーダー型医療開発プロジェクト	24,900,000	委 AMED委託費(厚労系他)
革新的がん編集技術を用いた筋萎縮性側索硬化症の遺伝子治療開発	植田幸嗣(分担)	がんプレジジョン医療研究センター	7,000,000	委 AMED委託費(厚労系他)
細胞老化の根本的原理の理解に基づいた革新的診断・治療戦略の開発	高橋曉子	がん研究所 細胞老化研究部	12,000,000	委 AMED委託費(厚労系他)
機械学習を基にした胃癌バーチャル色素内視鏡検査システムの開発	平澤俊明(分担)	有明病院 上部消化管内科	908,710	委 AMED委託費(厚労系他)
Podoplaninを標的としたヒトリンパ管腫(リンパ管奇形)に対する光免疫療法の開発	高木聡(分担)	がん化学療法センター基礎研究部	2,500,000	委 AMED委託費(厚労系他)
思春期女性へのHPV ワクチン公費助成開始後における子宮頸癌のHPV16/18陽性割合の推移に関する疫学研究	金尾祐之(分担)	有明病院 婦人科	400,000	委 AMED委託費(厚労系他)
BRAF V600E変異型切除可能大腸癌遠隔転移に対する個別化周術期治療の医師主導治験の実施	篠崎英司(分担)	有明病院 消化器化学療法科	1,000,000	委 AMED委託費(厚労系他)
糖鎖・レクチンパターン認識によるがんの精密細胞認識プラットフォームを基盤としたα線内用療法	片山量平(分担)	がん化学療法センター 基礎研究部	10,000,000	委 AMED委託費(厚労系他)
炎症誘発細胞除去による100歳を目指した健康寿命延伸医療の実現	上野貴之(分担)	有明病院 乳腺センター	8,000,000	委 AMED委託費(厚労系他)
次世代がん医療加速化研究事業における先進的技術支援と効率的推進マネジメント	野田哲生	がん研究所	531,500,000	委 AMED委託費(次世代がん)
PLK1作動薬による染色体動態の破綻を介したがん細胞増殖制御法の開発	高橋元子	がん研究所 実験病理部	5,000,000	委 AMED委託費(次世代がん)
Ribosome biogenesisを標的としたRAS変異大腸がん治療法開発	八尾良司	がん研究所 細胞生物部	9,000,000	委 AMED委託費(次世代がん)
エビゲノム異常を標的とした新規腫瘍がん治療戦略の開発	高橋曉子	がん研究所 細胞老化研究部	10,000,000	委 AMED委託費(次世代がん)
がん臨床検体と革新的3D培養技術を応用した治療抵抗性機構と克服法の探索	片山量平	がん化学療法センター基礎研究部	9,000,000	委 AMED委託費(次世代がん)
循環腫瘍変異タンパク質を利用した革新的がん早期診断技術開発	植田幸嗣	がんプレジジョン医療研究センター-がんオーダー型医療開発プロジェクト	9,000,000	委 AMED委託費(次世代がん)
空間的エビゲノム解析を用いた子宮体がんの腫瘍形成過程の解明と早期診断・予防のための新規バイオマーカーの同定	森誠一	がんプレジジョン医療研究センター-次世代がん研究チーム医療プロジェクト	9,000,000	委 AMED委託費(次世代がん)
LPA受容体を標的とした骨肉腫と多発がんの新規治療法開発	高木聡	がん化学療法センター基礎研究部	69,000,000	委 AMED委託費(次世代がん)
グアニン四重鎖による翻訳制御を標的としたがん治療薬の開発	清宮啓之	がん化学療法センター分子生物治療研究部	40,000,000	委 AMED委託費(次世代がん)
タンキラーゼ阻害剤を用いたがん微小環境とがん幹細胞性の同時リプログラミングによる新規薬剤併用療法の開発	馬島哲夫	がん化学療法センター 分子生物治療研究部	23,000,000	委 AMED委託費(次世代がん)
縦線化腫瘍に対する複合がん免疫療法の効果予測バイオマーカー確立	石本崇胤	がん研究所がん研究部	20,000,000	委 AMED委託費(次世代がん)
非翻訳RNA複合体の検出による乳がん晩期再発の早期診断・予測バイオマーカーの開発	斉藤典子	がん研究所 がん生物部	9,000,000	委 AMED委託費(次世代がん)
免疫療法抵抗性遺伝子変異の共通遺伝子を標的とした新規治療戦略の開発	北嶋俊輔(分担)	がん研究所 細胞生物部	500,000	委 AMED委託費(次世代がん)

抗体のポリマー修飾に基づく革新的免疫チェックポイント阻害剤の開発	菅原稔(分担)	がんプレジジョン医療研究センター がんゲノム医療開発プロジェクト	7,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)
エビゲノムの理解に基づく小児脳腫瘍の新規治療標的の同定を目指した研究開発	丸山玲緒(分担)	がん研究所がんエビゲノムプロジェクト	2,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)
脳腫瘍と神経細胞のコミュニケーションの理解を基盤とした新しい脳腫瘍治療戦略に関する研究開発	丸山玲緒(分担)	がん研究所がんエビゲノムプロジェクト	1,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)
肺がん免疫療法のための治療効果予測バイオマーカーの開発	芳賀淑美	がんプレジジョン医療研究センター がんゲノム医療開発プロジェクト	5,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)
メチオニン経路によるSTING/MAVSを介した抗腫瘍免疫制御機構の解明および治療応用	北嶋俊輔	がん研究所 細胞生物部	4,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)
細胞多様性に関連した免疫回避機構理解に基づく大腸がん新規治療戦略の開発	坂原瑞穂	がん研究所細胞生物部	5,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)
染色体外DNAの分配ダイナミクスに影響を与える分子の同定	丸山玲緒	がん研究所 がんエビゲノムプロジェクト	17,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)
細胞内小胞輸送の阻害によるがん微小環境の制圧	田中美和	がん研究所 がんエビゲノムプロジェクト	7,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)
ハイドログルニシによるがん多様性制御と医療応用基盤開発	丸山玲緒(分担)	がん研究所 がんエビゲノムプロジェクト	1,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)
細胞運命に着目した薬剤スクリーニングによる骨肉腫治療戦略の開発	片山量平(分担)	がん化学療法センター 基礎研究部	3,000,000	委	AMED委託費(次世代がん)
成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究	大橋孝	有明病院 中央手術室 消化器センター消化器外科 胃外科	300,000	委	国がん研究開発費
オミックス情報を活用した新たながん予防開発研究基盤の構築	広田亨	がん研究所 実験病理部	500,000	委	国がん研究開発費
画像診断支援AIを持続的に開発・性能評価する基盤環境の構築に関する研究	寺内隆司	有明病院 画像診断センター	400,000	委	国がん研究開発費
生体内ネットワークの理解による難治性がん克服に向けた挑戦	高橋孝子(分担)	がん研究所細胞老化研究部	16,846,000	補	科学技術振興機構 委託研究開発費
動原体超分子複合体の構造ダイナミクス	広田亨(分担)	がん研究所 実験病理部	12,800,000	補	科学技術振興機構 委託研究開発費
ゲノム複製におけるDNAポリメラーゼ間の協調的機能	大学保一	がん研究所	6,500,000	補	科学技術振興機構 委託研究開発費
内在性一本鎖RNA産生機構の解明およびがん免疫療法への応用	北嶋俊輔	がん研究所	7,000,000	補	科学技術振興機構 委託研究開発費
シングルセル・マルチオミックス解析による線維化シグナルネットワークの全貌解明	石本崇胤	がん研究所	8,600,000	補	科学技術振興機構 委託研究開発費
細胞内サイバネティクス・アダプターの遠隔制御によって見守られる社会の実現	高橋孝子(分担)	がん研究所細胞老化研究部	178,987,000	補	科学技術振興機構 委託研究開発費
レジリエント健康長寿社会の実現を先導するグローバルエコシステム形成拠点	高橋孝子(分担)	がん研究所細胞老化研究部	6,000,000	補	科学技術振興機構 委託研究開発費
透過性細胞を用いたクロマチンの蛍光標識	立和名博昭(分担)	がん研究所がん生物部	2,000,000	補	科学技術振興機構 委託研究開発費
遺伝子重複を形成するDNA複製フォーク動態	大学保一(分担)	がん研究所	2,700,000	補	科学技術振興機構 委託研究開発費
ブロッッキング剤の薬効・副作用評価とAI解析	旦根吾(分担)	がん化学療法センター分子薬理部	8,000,000	補	科学技術振興機構 委託研究開発費
がん関連苦痛症状の体系的治療の開発と実践および専門的がん疼痛治療の地域連携体制モデル構築に関する研究	松本禎久(分担)	有明病院 緩和治療科	500,000	補	厚労科研補助金
小児・AYA世代がん患者に対するがん・生殖医療における心理社会的支援体制の構築と安全な長期検体保管体制の構築を目指した研究—サバイバーシップ向上を志向して	片岡明美(分担)	有明病院 乳腺センター	200,000	補	厚労科研補助金
非加熱血液凝固因子製剤によるHIV感染者に合併する悪性腫瘍の制御を目指した研究	高橋俊二(分担)	有明病院 総合腫瘍科	300,000	補	厚労科研補助金
胃がんの一次および二次予防の現状把握とヘリコバクター・ピロリ未感染時代に対応した新たな胃がん検診の提案に向けた研究	後藤田卓志	有明病院 上部消化管内科・部長	1,200,000	補	厚労科研補助金
AIを用いた病理組織・細胞画像による腫瘍の予後・遺伝子変異・治療感受性の予測法の開発	高松学	がん研究所病理部	8,000,000	補	車両財団
微小核による核酸認識経路の活性化機構解明とがん免疫療法への応用	北嶋俊輔	がん研究所細胞生物部	9,640,000	補	車両財団
がん細胞で亢進するDNAポリメラーゼ機能の探索	大学保一	がん研究所	9,000,000	補	車両財団
生命科学連携推進協議会	(分担)清宮啓之	がん化学療法センター 分子生物治療研究部	40,000	補	文科省科研費
先端モデル動物支援プラットフォーム	(分担)清宮啓之	がん化学療法センター 分子生物治療研究部	29,560,000	補	文科省科研費
先端モデル動物支援プラットフォーム	(分担)馬島哲夫	がん化学療法センター 分子生物治療研究部	8,100,000	補	文科省科研費
先端モデル動物支援プラットフォーム	(分担)旦根吾	がん化学療法センター 分子薬理部	25,906,000	補	文科省科研費
先端モデル動物支援プラットフォーム	(分担)高松学	がん研究所 病理部	3,610,000	補	文科省科研費
網羅的変異タンパク質定量解析に基づく再発大腸癌の診断、治療法開発	植田幸嗣	がんプレジジョン医療研究センター	3,000,000	補	文科省科研費
日本人乳癌における生物学的特性および免疫微小環境の超長期変化の解明	大迫智	がん研究所 病理部	700,000	補	文科省科研費
口腔がん幹細胞に対する新規分子標的探索とその応用による口腔がん治療戦略基盤の確立	(分担)清宮啓之	がん化学療法センター 分子生物治療研究部	100,000	補	文科省科研費
がん細胞における可塑的染色体動態制御の病理学的意義	広田亨	がん研究所 実験病理部	30,100,000	補	文科省科研費
ホルモン依存性がんの再発におけるノンコーディングRNAの役割解明	斉藤典子	がん研究所 がん生物部	10,500,000	補	文科省科研費
ポドプラン依存的な血小板凝集による腫瘍の増殖・転移の促進機構の解析	藤田直也	がん化学療法センター	3,900,000	補	文科省科研費
染色体構造異常によるがんの悪性化機構の解析	高橋孝子	がん研究所 細胞老化研究部	4,500,000	補	文科省科研費
細胞ADP/ATPによる酸化酵素タンキラーを標的としたがん精密医療の分子基盤	清宮啓之	がん化学療法センター 分子生物治療研究部	4,200,000	補	文科省科研費
合成致死性を司る代謝リプログラミング機構の解明と治療への応用	富田章弘	がん化学療法センター ゲノム研究部	3,900,000	補	文科省科研費
DNA複製・RNA転写コンフリクトのゲノム科学的解析	大学保一	がん研究所 がんゲノム動態プロジェクト	4,600,000	補	文科省科研費
BCL2関連B細胞リンパ腫における多様性の解明	竹内賢吾	がん研究所 分子標的病理プロジェクト	4,100,000	補	文科省科研費
KRAS-LKB1変異型肺がんに特徴的な免疫抑制性のがん微小環境形成機構の解明	北嶋俊輔	がん研究所 細胞生物部	4,500,000	補	文科省科研費
患者由来検体の性状解析に基づく骨肉腫特異的な脆弱性の基盤解析	高木聡	がん化学療法センター 基礎研究部	4,500,000	補	文科省科研費
エビゲノム異常がもたらすがん細胞の多様性及び治療抵抗性獲得機構の解析	宮田憲一	がん研究所 がんエビゲノムプロジェクト	4,600,000	補	文科省科研費
腫瘍間質に依存したシヤストレス抵抗性の獲得と血行性がん転移機構の解明	石本崇胤	がん研究所 発がん研究部	5,300,000	補	文科省科研費
INKシグナル制御による免疫抑制的腫瘍微小環境の克服	千陽隆	がん研究所 発がん研究部	5,300,000	補	文科省科研費
転移性乳癌で生じる多様な変異型タンパク質の機能異常性の網羅的解析と病的意義の解明	中太義智	がん研究所 がんエビゲノムプロジェクト	800,000	補	文科省科研費
肺がんにおけるエビゲネティクスを介した薬剤耐性変異獲得メカニズムの解明	瀬戸陽介	がん化学療法センター 基礎研究部	800,000	補	文科省科研費
老化細胞から分泌されるエクソソームのがん病態における役割の解明	田中陽子	がん研究所 細胞老化研究部	1,300,000	補	文科省科研費
がん関連シグナルを標的とした肉腫に対する新規複合免疫療法の開発	鎌山翔	がん化学療法センター 分子薬理部	1,000,000	補	文科省科研費
転移学習を用いた唾液腺癌の組織学的悪性度の再分類の試み	佐藤由紀子	がん研究所 病理部	900,000	補	文科省科研費
定量質量分析を用いた標的タンパク質分解とがん特異抗原提示増強効果についての検討	峯岸ゆり子	CPMセンター プロテオミクス解析グループ	1,500,000	補	文科省科研費
包括的組織Oグライコプロテオミクスによるがん特異的糖鎖の作動原理解明	芳賀淑美	がんプレジジョン医療研究センター	1,100,000	補	文科省科研費
多文脈化エピトープとT細胞免疫反応評価を利用した細胞外小胞の機能的差分化	芝清隆	がん研究所	1,200,000	補	文科省科研費
甲状腺乳頭癌高リスク群の腫瘍微小環境を解明する	千葉知宏	がん研究所 病理部	1,200,000	補	文科省科研費
転写調節型CDK阻害剤が着効を示すがんの層別化を可能とする抗がん分子機序の解明	大橋愛美	がん化学療法センター 分子薬理部	1,400,000	補	文科省科研費
Kras変異に伴う消化管腫瘍の細胞多様性と免疫回避機構の解明	坂原瑞穂	がん研究所 細胞生物部	1,200,000	補	文科省科研費
マウスにおける染色体異常誘導系を用いた大腸がん進展に関わるゲノム構造異常の解析	高野洋志	がん研究所 細胞生物部	700,000	補	文科省科研費
LKB1/KEAP1変異に伴う腫瘍免疫制御を介したシトリン耐性機序の解明	佐々木信成	がん研究所 細胞生物部	1,200,000	補	文科省科研費
がん細胞の代謝可塑性制御機構の解明と制御破綻に基づく新規治療法の考案	岡本有加	がん化学療法センター ゲノム研究部	1,100,000	補	文科省科研費
遺伝性腫瘍症候群診断のための非コード領域バリエーションの病原性分類アルゴリズムの開発	金安智子	がん研究所 がんゲノム研究部	1,300,000	補	文科省科研費
光学的リーサリティを用いた腫瘍間質リモデリング効果の生体イメージング	福田正裕	がん研究所 発がん研究部	1,000,000	補	文科省科研費
遠隔臓器コミュニケーションによるスナイス胃癌線維化メカニズムの解明	安田忠臣	がん研究所 発がん研究部	1,000,000	補	文科省科研費
単一核マルチオーム解析を用いた胃がん間質不均一性の解明	内原智幸	がん研究所 発がん研究部	1,000,000	補	文科省科研費
子宮体癌とその前癌病変である内臓癌の空間的エビゲノム解析	後藤理	がん研究所 がんゲノム研究部	1,100,000	補	文科省科研費
ヒト汗腺モデルを利用した汗腺老化メカニズムの解明と有効成分の探索	早川智久	NEXT-Gankenプログラム がん細胞社会形成部門	1,500,000	補	文科省科研費
動くタンパク質構造辞典構築を介した疾患関連分子の新規標的部位探索	片山量平	がん化学療法センター 基礎研究部	5,000,000	補	文科省科研費
がん微小環境におけるポリミン代謝機能解明への挑戦	高橋孝子	がん研究所 細胞老化研究部	5,000,000	補	文科省科研費
クロマチンの運動性から捉える転写制御のゆらぎとがん細胞の悪性化	野澤竜介	がん研究所 実験病理部	1,500,000	補	文科省科研費
再発乳がんにおける群発的ノンコーディングRNAの転写が主導する遺伝子発現調節機構	斉藤典子	がん研究所 がん生物部	1,500,000	補	文科省科研費
リピーター領域も包括したオミックス解析法による新たな細胞の特徴と機能の解明	宮田憲一	がん研究所 がんエビゲノムプロジェクト	2,000,000	補	文科省科研費
HP1によるAurora B複合体の動的構造解析とその空間制御機構の解明	迫洗佑	がん研究所 実験病理部	1,400,000	補	文科省科研費
がんの進行・悪性化における可塑的染色体動態制御の意義	趙民知	がん研究所 実験病理部	1,400,000	補	文科省科研費
オルガノイドとシングルセル解析を用いた、乳癌細胞が正常細胞にもたらす変化の解明	尾辻和尊	NEXT-Gankenプログラム がん細胞多様性解明	800,000	補	文科省科研費
患者由来オルガノイドとハイドロゲルを用いた乳がん幹細胞生存シグナル経路の解明	鈴鹿淳	NEXT-Gankenプログラム がん細胞多様性解明	1,100,000	補	文科省科研費
動的タンパク質集合体が駆動する染色体構築	高橋元子	がん研究所 実験病理部	1,300,000	補	文科省科研費
乳癌における微小環境内リンパ管の特異性と、癌オルガノイドとの相互作用の解明	家里明日美	NEXT-Gankenプログラム がん細胞多様性解明	1,600,000	補	文科省科研費
老化CAFsにおける翻訳制御を介したSASP誘導およびがん促進機構の解明	菅原洋	がん研究所 細胞老化研究部	1,100,000	補	文科省科研費

がん関連線維芽細胞を標的とした免疫微小環境リモデリング機序の解明	秋山貴彦	有明病院 大腸外科	1,600,000	補	文科省科研費
Tumor-initiating cellを基軸とした線維芽細胞が制御する膵がん進展機構の解明	山崎昌哉	がん研究所 発がん研究部	1,800,000	補	文科省科研費
メタボリックシンドロームに関連した細胞老化が引き起こす癌転移機序の解明	付凌峰	がん研究所 発がん研究部	1,600,000	補	文科省科研費
細胞外小胞の1粒子解析による小胞表面抗原の網羅的解析と癌の病態解明	柴田智華子	がん研究所 がんエビゲノムプロジェクト	1,000,000	補	文科省科研費
がんの悪性形質獲得過程における染色体動態の可塑的制御とその意義	趙民知	がん研究所 実験病理部	1,200,000	補	文科省科研費
脳腫瘍と脳内微小環境のコミュニケーションを解明するコネクソミクス解析基盤の創出	(分担)丸山玲緒	がん研究所 がんエビゲノムプロジェクト	1,000,000	補	文科省科研費
RNAと染色体骨格タンパク質群による液-液相分離現象が促すM期染色体制御	(分担)広田亨	がん研究所 実験病理部	500,000	補	文科省科研費
腸内細菌の細胞外小胞による進行肝硬変の再生不全の機序解明と予防・治療法開発	(分担)植田幸嗣	がんプレジジョン医療研究センター	300,000	補	文科省科研費
虹彩萎縮に伴う前房水環境変化の病態解明と角膜移植の予後改善にむけた基盤創出	(分担)植田幸嗣	がんプレジジョン医療研究センター	250,000	補	文科省科研費
ジェロサイエンスに基づく新規矯正歯科治療の基盤構築-Senolyticsの口腔科学への展開	(分担)高橋暁子	がん研究所 細胞老化研究部	100,000	補	文科省科研費
スクニルCoAによる心筋代謝機構の解明	(分担)植田幸嗣	がんプレジジョン医療研究センター	100,000	補	文科省科研費
内耳蝸牛基底部を自発的に増殖再生させるメカニズムの解明	(分担)土橋映仁	がん研究所 分子標的病理プロジェクト	860,000	補	文科省科研費
患者由来オルガノイド再構成モデルによる播種細胞からの顕在性転移株の発生機序の解明	(分担)八尾良司	がん研究所 細胞生物部	300,000	補	文科省科研費
免疫ペプチドーム修飾による免疫チェックポイント阻害剤の適応範囲拡大	(分担)芝清隆	がん研究所	50,000	補	文科省科研費
未知の機能的リンパ管解剖の探求からリンパ浮腫外科治療の効果を向上させる研究	関征央	有明病院 形成外科	700,000	補	文科省科研費
WHO分類における新規脂肪性腫瘍の検証とテロメア維持機構を含む全体像の解明	山下享子	有明病院 病理部	1,000,000	補	文科省科研費
転移性乳癌患者における全身免疫病態の網羅的集団動態解析	山下万貴子	有明病院 がん免疫治療開発部	300,000	補	文科省科研費
進行下部直腸癌に対する待機療法の前向きコホートを用いた縦断的循環腫瘍DNA解析	秋吉高志	有明病院 大腸外科	1,400,000	補	文科省科研費
経口抗がん薬のアドヒアランスをリアルタイムに評価しアドヒアランス向上を目指す研究	川上和宜	有明病院 薬剤部	100,000	補	文科省科研費
周術期乳癌患者における抗腫瘍B細胞免疫応答の解明	北野滋久	有明病院 がん免疫治療開発部	1,600,000	補	文科省科研費
子宮頸がん患者の放射線治療による腔関連有害事象に対する患者支援プログラムの開発	藤森志保	有明病院 看護部	1,000,000	補	文科省科研費
タイルジャンクションの構造破綻を起点とした腫瘍とその微小環境特性の解明	中山蔵馬	がん研究所	1,100,000	補	文科省科研費
オルガノイド技術と新規シンジェニックマウスモデルを用いた胆道癌・膵癌の治療開発	春日章良	有明病院 肝胆膵内科	900,000	補	文科省科研費
EGFR陽性肺癌における小細胞癌転化の分子プロファイル解析と転化機構の解明	内堀健	有明病院 呼吸器内科	1,300,000	補	文科省科研費
『皮膚ー再生軟骨複合組織』による体欠損治療法の検討	鍵本慎太郎	有明病院 形成外科	500,000	補	文科省科研費
言語化困難な切除適応と治療結果のAI解析に基づく進行大腸癌肝転移の切除適応標準化	小林光助	有明病院 肝胆膵外科	200,000	補	文科省科研費
非ウイルス性非アルコール性肝癌の発癌および再発に関連する腫瘍内細菌の同定	重松康之	有明病院 病理部	1,600,000	補	文科省科研費
臓器横断的腫瘍内細菌叢の解析によるがん免疫応答への関与の解明	福岡聖大	有明病院 消化器化学療法科	2,400,000	補	文科省科研費
BH3 profilingを用いた、頭頸部扁平上皮癌に対する免疫療法の治療戦略探索研究	在原洋平	有明病院 先端医療開発科	1,500,000	補	文科省科研費
最適ながん免疫療法の実現に向けた根治的放射線治療施行頭頸部癌患者の免疫応答解析	豊島雄二郎	有明病院 先端医療開発科	1,300,000	補	文科省科研費
サルコペニア・肥満が膵癌患者予後を不良にする癌微小環境における分子機序の解明	武田剛志	有明病院 肝胆膵内科	1,300,000	補	文科省科研費
炎症性大腸癌におけるDNA 損傷と免疫応答に着目した新たな治療の開発	小澤直也	有明病院 大腸外科	1,800,000	補	文科省科研費
Opioid-free anesthesiaによる重症睡眠時無呼吸症候群への治療効果の解明	川上定俊	有明病院 麻酔科	700,000	補	文科省科研費
機械学習を用いた直腸癌術後再発の予測モデルの構築と臨床応用	坂本貴志	有明病院 大腸外科	200,000	補	文科省科研費
次世代遺伝子発現解析法に立脚したシークエンセスながん分子サブタイプ規定法の開発	(分担)北野滋久	有明病院 がん免疫治療開発部	500,000	補	文科省科研費
次世代トランスクリプトーム解析を用いた肺癌個別化医療開発	(分担)北野滋久	有明病院 がん免疫治療開発部	330,000	補	文科省科研費
食道癌手術後の呼吸器合併症減少を目指した革新的リスク評価法の確立	(分担)今村裕	有明病院 消化器外科	100,000	補	文科省科研費
食道癌手術後の呼吸器合併症減少を目指した革新的リスク評価法の確立	(分担)渡邊雅之	有明病院 消化器外科	300,000	補	文科省科研費
胃切除後の血糖変動を考慮した個別化栄養介入によるダンピング症候群の克服	(分担)今村裕	有明病院 消化器外科	20,000	補	文科省科研費
胃切除後の血糖変動を考慮した個別化栄養介入によるダンピング症候群の克服	(分担)渡邊雅之	有明病院 消化器外科	20,000	補	文科省科研費
組織血流動態と組織硬さを定量指標化する形成外科手術支援システム	(分担)矢野智之	有明病院 形成外科	50,000	補	文科省科研費
セントロメア微小環境を形成する非ドメン型RNAの転写制御機構	野澤竜介	がん研究所 実験病理部	3,700,000	補	文科省科研費
核内構造体の微細多層構造と乳がん再発における意義の解明	斎藤典子	がん研究所 がん生物部	1,900,000	補	文科省科研費
セントロメアにおけるパイオロジカルクラスターの形成とその特性	広田亨	がん研究所 実験病理部	22,900,000	補	文科省科研費
がんの転移・再発過程で生じる細胞リプログラミング機構の解明	八尾良司	がん研究所 細胞生物部	3,600,000	補	文科省科研費
腫瘍内不均一性の形成過程における染色体体DNAの果たす役割の解明	丸山玲緒	がん研究所 がんエビゲノムプロジェクト	5,000,000	補	文科省科研費
骨軟部肉腫の特性を標的とするエビゲノム編集治療技術の確立	田中美和	がん研究所 がんエビゲノムプロジェクト	3,700,000	補	文科省科研費
がん薬物療法後の残存腫瘍における生存シグナルとがん免疫微小環境の解析	片山量平	がん化学療法センター 基礎研究部	5,000,000	補	文科省科研費
子宮・卵巣癌肉腫の3次元空間エビゲノム解析による肉腫組織生成の分子機序の解明	森誠一	がんプレジジョン医療研究センター	5,000,000	補	文科省科研費
老化間質細胞を標的とした新規がん治療法の探索	羅智文	がん研究所 細胞老化研究部	800,000	補	文科省科研費
細胞老化におけるミトコンドリアDNA損傷応答	山内翔太	がん研究所 細胞老化研究部	854,940	補	文科省科研費
新規創製CLEC-2結合ペプチドの解析によるがんに関連した血小板活性化制御法の開発	竹本愛	がん化学療法センター 基礎研究部	1,000,000	補	文科省科研費
AIを用いた腫瘍内不均一性の可視化と定量化による腫瘍のリスク判定システムの構築	山本智理子	がん研究所 病理部	2,100,000	補	文科省科研費
がん組織特異的に生じる分化転換機構の解明	八尾良司	がん研究所 細胞生物部	1,500,000	補	文科省科研費
Immunogenic Non-coding RNAを産生する非コードゲノム領域の同定	北嶋俊輔	がん研究所 細胞生物部	2,500,000	補	文科省科研費
オプトジェネティクス技術を用いた腫瘍微小環境制御の可能性を拓く	石本崇胤	がん研究所 発がん研究部	2,600,000	補	文科省科研費
A genome wide investigation into the roles of error-prone polymerases during human DNA replication	Bainbridge Lewis	がん研究所 がんゲノム動態プロジェクト	1,300,000	補	文科省科研費
膵癌微小環境の形成機構解明を目指した網羅的な細胞外小胞の表面抗原探索技術の創出	柴田智華子	がん研究所 がんエビゲノムプロジェクト	2,800,000	補	文科省科研費
乳がんの進展に寄与するシス制御領域の同定とその転写制御における役割の解明	糸川昂平	NEXT-Gankenプログラム がん細胞多様性解明円	2,400,000	補	文科省科研費
がん組織内の老化血管内皮細胞によるがん悪性化機構の解明	周翔宇	がん研究所 細胞老化研究部	900,000	補	文科省科研費
T細胞上に発現したPD-L1の機能解析とその臨床応用の可能性	狭川玲	がん化学療法センター 基礎研究部	1,400,000	補	文科省科研費
転移性乳がんにおける炎症誘導機構の多層的解明とその臨床応用に向けた基盤研究	佐伯澄人	がん研究所 がんエビゲノムプロジェクト	1,800,000	補	文科省科研費
がんのiPS誘導抵抗性を応用したKRAS阻害薬耐性因子の同定とメカニズムの解明	丸山航平	がん化学療法センター 基礎研究部	900,000	補	文科省科研費
c-MyciによるEMT誘導の時空間的解析と転移を予測する新規バイオマーカーの探索	長坂真衣	がん化学療法センター 基礎研究部	1,000,000	補	文科省科研費
ストローム・リプログラミングを軸としたがん治療戦略の開発	石本崇胤	がん研究所 発がん研究部	1,400,000	補	文科省科研費
パイオロジカルクラスター: 細胞内における超分子複合体の形成機構と機能特性	(分担)広田亨	がん研究所 実験病理部	8,000,000	補	文科省科研費
パイオロジカルクラスター解析のための極限時間空間相関分光法の確立	(分担)野澤竜介	がん研究所 実験病理部	3,800,000	補	文科省科研費
パイオロジカルクラスター解析のための極限時間空間相関分光法の確立	(分担)平野泰弘	がん研究所 実験病理部	500,000	補	文科省科研費
高機能ゲルによるゲノム制御: がん幹細胞リプログラミングの空間情報解析と治療薬開発	(分担)丸山玲緒	がん研究所 がんエビゲノムプロジェクト	3,200,000	補	文科省科研費
C9ORF72変異ALSにおける非膜性オルガネラ機能障害機構の解明	(分担)植田幸嗣	がんプレジジョン医療研究センター	500,000	補	文科省科研費
系諸可塑性を内包する難治性前立腺癌の分子制御機構の解明と個別化治療戦略の確立	(分担)植田幸嗣	がんプレジジョン医療研究センター	300,000	補	文科省科研費
系諸可塑性を内包する難治性前立腺癌の分子制御機構の解明と個別化治療戦略の確立	(分担)北野滋久	有明病院 がん免疫治療開発部	300,000	補	文科省科研費
小細胞肺癌の腫瘍内heterogeneityについて	(分担)山崎昌哉	がん研究所 発がん研究部	400,000	補	文科省科研費
遺伝性胃腸癌臨床検体を用いた上部胃癌発癌メカニズムの解明と革新的治療法の確立	(分担)石本崇胤	がん研究所 発がん研究部	200,000	補	文科省科研費
ゲノム規模のハプロ不全の制御のための1遺伝子量補填(標的)の同定	(分担)趙民知	がん研究所 実験病理部	500,000	補	文科省科研費
胆管がんリキッドバイオプリンクの開発と臨床応用	伊藤寛倫	有明病院 消化器外科	800,000	補	文科省科研費

血中循環腫瘍細胞の経時的トランスクリプトーム解析による薬剤耐性メカニズムの解明	小林隆之	有明病院 乳腺内科	1,300,000	補	文科省科研費
膝癌EUS-FNA検体のCaveolin-1発現と化学療法選択の臨床的基盤の確立	大庭篤志	有明病院 肝胆膵外科	1,400,000	補	文科省科研費
ディープラーニングによる上部消化器腺癌の分子亜型診断モデルの構築	渡邊雅之	有明病院 消化器外科	1,500,000	補	文科省科研費
空間的トランスクリプトームとマルチオミクスによる食道癌の新規免疫治療分子の同定	今村裕	有明病院 消化器外科	1,200,000	補	文科省科研費
人工知能を活用した組織類似性評価による子宮体癌卵巣癌共存例の新規鑑別診断法の開発	阿部彰子	有明病院 婦人科	1,100,000	補	文科省科研費
リンパ浮腫に特異的なT細胞の同定・新規バイオマーカーの確立と薬物療法を目指す	今井洋文	有明病院 形成外科	800,000	補	文科省科研費
炎症性サイトカインによる炭素イオン線治療後の放射線肺炎の早期予測・予防法確立	青木秀梨	有明病院 放射線治療部	1,000,000	補	文科省科研費
炭酸ガス血管造影とボリドカノールを組み合わせた静脈癌硬化療法の改善	土屋智史	有明病院 超音波診断・IVR部	1,100,000	補	文科省科研費
支持療法の個別化医療を目指した、抗がん薬の悪心嘔吐における遺伝的リスク因子の解明	横川貴志	有明病院 薬剤部	1,000,000	補	文科省科研費
人工知能による狭帯域光併用エンドサイトスコピー画像を用いた胃癌の診断性能	堀内裕介	有明病院 上部消化管内科	900,000	補	文科省科研費
がん免疫療法の有害事象と抗腫瘍免疫抑制に寄与するマクロファージサブセットの解明	(分担)三浦裕司	有明病院 総合腫瘍科	500,000	補	文科省科研費
前立腺癌の高精度放射線治療技術別の至適治療開発と適応拡大に関する基礎研究	(分担)吉岡靖生	有明病院 放射線治療部	50,000	補	文科省科研費
中学生ピロリ菌検診の検証・検査の精度と除菌治療後フォロー体制の確立に向けて	(分担)藤崎順子	有明病院 検診部	100,000	補	文科省科研費
上部尿路上皮癌の個別化術後補助療法に向けた腫瘍微小環境と遺伝子変異による統合解析	(分担)北野滋久	有明病院 がん免疫治療開発部	100,000	補	文科省科研費
がん診療についての統合的臨床データベースの社会実装	鈴木一洋	有明病院 医療情報部	9,361,728	補	SIP_戦略的イノベーション創造プログラム
医療機関・ベンチャー・システムの垣根を超えた医療データ基盤構築による組織横断的な医療情報収集の実現	小口正彦(分担)	有明病院 医療情報部	11,160,000	補	SIP_戦略的イノベーション創造プログラム

計 240 件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申 請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院にお ける所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Tanaka, K., Hirasawa, T.	上部消化管内科	Gastric Adenocarcinoma and Proximal Polyposis of the Stomach.	N. Engl. J. Med. 2025 Mar(オンライン)	Case report
2	Maruyama, D., Jacobsen, E., Porcu, P.,et al.	血液腫瘍科	Valemetostat monotherapy in patients with relapsed or refractory non-Hodgkin lymphoma: a first-in-human, multicentre, open-label, single-arm, phase I study.	Lancet Oncol. 2024 Dec; 25: 1589-1601	Original Article
3	Takemura, K., Yuasa, T., Choueiri, T. K.,et al.	泌尿器科	Reply to Yudai Ishiyama and Fumihiko Urabe's Letter to the Editor re: Kosuke Takemura, Audreylie Lemelin, Matthew S. Ernst, et al. Outcomes of Patients with Brain Metastases from Renal Cell Carcinoma Receiving First-line Therapies: Results from the International Metastatic Renal Cell Carcinoma Database Consortium. Eur Urol. In press. https://doi.org/10.1016/j.eururo.2024.01.006	Eur. Urol. 2024 Dec; 86: e143-e144	Letter
4	Bando, H., Kumagai, S., Kotani, D.,et al.	消化器化学療法科	Atezolizumab following definitive chemoradiotherapy in patients with unresectable locally advanced esophageal squamous cell carcinoma - a multicenter phase 2 trial (EPOC1802)	Nat Cancer. 2025 Mar; 6: 445-459	Original Article
5	Inamura, K.	病理部/病院病理	Re: Mingxiao Feng, Andres Matoso, Gabriel Epstein, et al. Identification of lineage-specific transcriptional factor-defined molecular subtypes in small cell bladder cancer. Eur Urol. In press. https://doi.org/10.1016/j.eururo.2023.05.023	Eur. Urol. 2024 Apr ; 85: e120	Letter
6	Takemura, K., Lemelin, A., Ernst, M. S.,et al.	泌尿器科	Outcomes of patients with brain metastases from renal cell carcinoma receiving First-line therapies: Results from the International Metastatic Renal Cell Carcinoma Database Consortium.	Eur. Urol. 2024 Dec; 86: 488-492	Original Article
7	Shigematsu, Y.	病院病理/病理部	Immunotherapy Benefit Over Best Supportive Care in Hepatocellular Cancer With Child-Pugh B Dysfunction.	JAMA Oncol. 2025 Feb; 11: 186-187	Letter
8	Maruyama, D., Yamauchi, N.	血液腫瘍科	Isatuximab plus carfilzomib-dexamethasone for relapsed multiple myeloma.	Lancet Haematol. 2024 Nov; 11: e710-e711	Case report
9	Osumi, H., Shinozaki, E., Nakamura, Y.,et al.	消化器化学療法科	Clinical features associated with NeoRAS wild-type metastatic colorectal cancer A SCRUM-Japan GOZILA substudy.	Nat. Commun. 2024 Jul(オンライン)	Original Article
10	Sasaki, T., Sato, Y., Maegawa, Y.,et al.	肝胆膵内科	One-step endoscopic ultrasound-guided pancreatic duct drainage using a 7-Fr ultra-tapered plastic stent and a novel 0.035-inch guidewire.	Endoscopy. 2024 Dec; 56: E1098-E1099	Others
11	Nakao, E., Yoshio, T., Kato, Y.,et al.	上部消化管内科	Randomized controlled trial of an artificial intelligence diagnostic system for the detection of esophageal squamous cell carcinoma in clinical practice.	Endoscopy. 2025 Mar; 57: 210-217	Original Article

12	Takemura, K., Ernst, M. S., Navani, V., et al.	泌尿器科	Characterization of patients with metastatic renal cell carcinoma undergoing deferred, upfront, or no cytoreductive nephrectomy in the era of combination immunotherapy: results from the international metastatic renal cell carcinoma database consortium.	Eur. Urol. Oncol. 2024 Jul; 7: 501–508	Original Article
13	Ishida, H., Sunakawa, Y., Kodera, Y., et al.	胃外科	Post-recurrence survival in patients with stage III gastric cancer who received adjuvant chemotherapy; post-hoc analysis of the JACCRO GC-07 study.	Eur. J. Cancer. 2025 Mar; 219: 115322	Original Article
14	Kato, S., Shigematsu, Y., Saito, R., et al.	病院病理	Schistosoma japonicum-related hepatitis: potential contributor to hepatocellular carcinoma.	QJM. 2024 Oct; 117: 737–738	Others
15	Hayashi, N., Ono, M., Fukada, I., et al.	ゲノム診療部	Addressing the knowledge gap in the genomic landscape and tailored therapeutic approaches to adolescent and young adult cancers.	ESMO Open. 2024 Aug; (オンライン)	Original Article
16	Takemura, K., Yuasa, T., Lemelin, A., et al.	泌尿器科	Prognostic significance of absolute lymphocyte count in patients with metastatic renal cell carcinoma receiving first-line combination immunotherapies: results from the International Metastatic Renal Cell Carcinoma Database Consortium.	ESMO Open. 2024 Jun (オンライン)	Original Article
17	Shimozaki, K., Fukuoka, S., Ooki, A., et al.	消化器化学療法科	HER2-low gastric cancer: is the subgroup targetable?	ESMO Open. 2024 Aug; 9: 103679	Review
18	Chino, A., Tanakaya, K., Nakajima, T., et al.	下部消化管内科	Colorectal cancer and advanced adenoma characteristics according to causative mismatch repair gene variant in Japanese colorectal surveillance for Lynch syndrome.	J. Gastroenterol. 2024 Aug; 59: 699–708	Original Article
19	Kato, K., Yamashita, K., Dobashi, A., et al.	病院病理/病理部	Novel THBS1::IGF1R fusion in myopericytic tumour.	Histopathology. 2024 Jun ; 85: 197–201	Original Article
20	Hatori, M., Tsuji, D., Suzuki, K., et al.	薬剤部	Pharmacogenomic study of gemcitabine efficacy in patients with metastatic pancreatic cancer: A multicenter, prospective, observational cohort study (GENELECT study).	Cancer. 2024 Apr ; 130: 2988–2999	Original Article
21	Ri, M., Nishie, N., Ohashi, M., et al.	胃外科	Advantages of adjuvant chemotherapy using S-1 following minimally invasive gastrectomy for gastric cancer versus open surgery: a propensity score-matched analysis.	Gastric Cancer. 2025 Jan; 28: 122–130	Original Article
22	Hu, Q., Ohashi, M., Ri, M., et al.	胃外科	Minimum resection length to ensure a pathologically negative distal margin and a larger remnant stomach for esophagogastric junction cancer.	Gastric Cancer. 2025 Mar; 28: 493–500	Original Article
23	Ooki, A., Osumi, H., Yoshino, K., et al.	消化器化学療法科	Potent therapeutic strategy in gastric cancer with microsatellite instability-high and/or deficient mismatch repair.	Gastric Cancer. 2024 Sep; 27: 907–931	Review
24	Kitahama, K., Shigematsu, Y., Amori, G., et al.	病理部/病院病理	RAS family gene mutations, clinicopathological features, and spread patterns of inverted urothelial papilloma of the bladder.	Am. J. Surg. Pathol. 2024 Apr ; 48: 458–464	Original Article
25	Morita, Y., Yoshimizu, S., Takamatsu, M., et al.	上部消化管内科	Prediction of the invasion depth of superficial nonampullary duodenal adenocarcinoma.	Dig. Endosc. 2024 Aug; 58: 927–938	Original Article
26	Mie, T., Sasaki, T., Sasahira, N.	肝胆膵内科	Endoscopic transpapillary drainage through the pancreatic stump for postoperative pancreatic fistula after distal pancreatectomy.	Dig. Endosc. 2024 Oct; 36: 1176–1178	Others
27	Mie, T., Nakagawa, H., Sasaki, T.	肝胆膵内科	Hemostasis for postendoscopic sphincterotomy hemorrhage using a stone extraction balloon filled with ice-cold water.	Dig. Endosc. 2024 May ; 35: 636–637	Others
28	Namikawa, K., Björnsson, E. S.	上部消化管内科	Rebound Acid Hypersecretion after Withdrawal of Long-Term Proton Pump Inhibitor (PPI) Treatment—Are PPIs Addictive?	Int. J. Mol. Sci. 2024 May ; 25: 5459	Review

29	Matsuo, H., Matsui, R., Kumagai, K.,et al.	栄養管理部	Reply to Lee, S.Y. Comment on "Matsuo et al. Impact of Olfactory Change on Postoperative Body Weight Loss in Patients with Gastric Cancer after Gastrectomy. <i>Nutrients</i> 2024, 16, 851"	Nutrients. 2024 Aug (オンライン)	Others
30	Fujiwara, R., Yamamoto, S., Takemura, K.,et al.	泌尿器科	Clinical Outcomes and Prognostic Factors in Nonmetastatic Castration-Resistant Prostate Cancer Treated with Androgen Receptor Signaling Inhibitors Therapy.	Cancers (Basel). 2024 Aug; 16: 2659	Original Article
31	Suenaga, M., Mashima, T., Kawata, N.,et al.	消化器化学療法科	Exploratory Study Identifies Matrix Metalloproteinase-14 and -9 as Potential Biomarkers of Regorafenib Efficacy in Metastatic Colorectal Cancer.	Cancers (Basel). 2024 Aug; 16: 2855	Original Article
32	Maruyama, S., Imamura, Y., Toihata, T.,et al.	胃外科	FOXP3+/CD8+ ratio associated with aggressive behavior in RUNX3-methylated diffuse esophagogastric junction tumor.	Cancer Sci. 2025 Jan; 116: 178-191	Original Article
33	Shigematsu, Y., Saito, R., Amori, G.,et al.	病院病理/病理部	Fusobacterium nucleatum, immune responses, and metastatic organ diversity in colorectal cancer liver metastasis.	Cancer Sci. 2024 Oct; 115: 3248-3255	Original Article
34	Shigematsu, Y., Saito, R., Kanda, H.,et al.	病院病理/病理部	Inverse Correlation between pks-Carrying Escherichia coli Abundance in Colorectal Cancer Liver Metastases and the Number of Organs Involved in Recurrence.	Cancers (Basel). 2024 Sep(オンライン)	Original Article
35	Yunokawa, M., Kurihara, N., Ishizuka, N.,et al.	婦人科	Investigating the timing and site of recurrence for ovarian clear cell carcinoma: Analysis of the IGOG/GCIG trial-IGOG 3017-A3.	Gynecol. Oncol. 2024 Aug; 190: 113-118	Original Article
36	Matsui, R., Nunobe, S., Ri, M.,et al.	胃外科	Prealbumin Prognostic Score: A Novel Prognostic Indicator After Radical Gastrectomy in Patients with Gastric Cancer.	Cancers (Basel). 2024 Nov(オンライン)	Original Article
37	Nakao, M., Suzuki, A., Ichinose, J.,et al.	呼吸器外科	Prognostic impact of the N2 subclassification and stage migration in the ninth edition of the TNM classification in surgically resected lung cancer.	Lung Cancer. 2025 Jan; 199: 108073	Original Article
38	Miyadera, K., Kakuto, S., Sugai, M.,et al.	呼吸器内科	Serum CYFRA 21-1 as a Prognostic Marker in Non-Small-Cell Lung Cancer Patients Treated with Immune Checkpoint Inhibitors.	Cancers (Basel). 2024 Nov(オンライン)	Original Article
39	Shimozaki, K., Ooki, A., Yoshino, K.,et al.	消化器化学療法科	Investigating the role of immunotherapy for real-world patients with HER2-negative advanced gastric cancer between 2011 and 2023.	Ther. Adv. Med. Oncol. 2025 Feb(オンライン)	Original Article
40	Shigematsu, Y., Tanaka, K., Amori, G.,et al.	病院病理/病理部	Potential involvement of oncostatin M in the immunosuppressive tumor immune microenvironment in hepatocellular carcinoma with vessels encapsulating tumor clusters.	Hepatol. Res. 2024 Apr ; 54: 368-381	Original Article
41	Ohmoto, A., Fuji, S.	総合腫瘍科	Letermovir for cytomegalovirus infection in allogeneic hematopoietic stem-cell transplantation: tips and notes for effective use in clinical practice.	Expert Rev. Anti Infect. Ther. 2024 Apr ; 22: 169-178	Review
42	Ohmoto, A., Fuji, S.	総合腫瘍科	Non-cancerous complications in HTLV-1 carriers.	Expert Rev. Anti Infect. Ther. 2024 May ; 22: 307-316	Review
43	Hosonaga, M., Habano, E., Arakawa, H.,et al.	乳腺内科	Case series of Li-Fraumeni syndrome: carcinogenic mechanisms in breast cancer with TP53 pathogenic variant carriers.	Breast Cancer. 2024 Sep; 31: 988-996	Original Article
44	Nakatsuka, K., Karakawa, R., Yano, T.	形成外科	Color differences of skin paddles using the free flap for autologous breast reconstruction in Asian patients.	Breast Cancer. 2025 Feb; 32: 306-313	Original Article
45	Abe, T., Kataoka, A., Uehiro, N.,et al.	乳腺外科	Desire for pregnancy and fertility preservation in young patients with breast cancer.	Breast Cancer. 2024 Dec; 31: 1137-1143	Original Article

46	Aoyama, Y., Ozaki, Y., Kizawa, R., et al.	乳腺内科	Efficacy and feasibility of neoadjuvant pembrolizumab plus chemotherapy for early-stage triple-negative and estrogen receptor low, HER2-negative breast cancer: a Japanese single-institution real-world study.	Breast Cancer. 2025 Feb; 32: 329-336	Original Article
47	Kanno, M., Yunokawa, M., Fusegi, A., et al.	婦人科	Author's reply to: Revisiting the meaning of Trousseau sign and syndrome.	J. Gynecol. Oncol. 2024 May ; 35: e93	Letter
48	Fusegi, A., Kanao, H., Kamata, M., et al.	婦人科	Clinical implications of the superficial uterine vein pattern for the dissection of the anterior layer of the vesicouterine ligament in radical hysterectomy.	J. Gynecol. Oncol. 2024 Jul; 35: e50	Original Article
49	Chiba, T.	細胞診断部/病院病理	Molecular pathology of thyroid tumors: Essential points to comprehend regarding the latest WHO classification.	Biomedicines 2024 Apr ; 12: 712	Review
50	Ichinose, J., Kobayashi, N., Fukata, K., et al.	呼吸器外科	Accuracy of thoracic nerves recognition for surgical support system using artificial intelligence.	Sci. Rep. 2024 Aug; 14(オンライン)	Original Article
51	Shiraishi, K., Okada, M., Yamamoto, S., et al.	消化器化学療法科	The efficacy and safety of FOLFOX therapy for advanced esophageal squamous cell carcinoma.	Sci. Rep. 2025 Mar(オンライン)	Original Article
52	Ono, Y., Inoue, Y., Kobayashi, K., et al.	肝胆膵外科	Laparoscopic portal vein ligation and embolization during first-stage hepatectomy for initially unresectable colorectal liver metastases.	Ann. Surg. Oncol. 2024 May ; 31: 3069-3070	Original Article
53	Hayama, B., Harada, S., Suzuki, M., et al.	感染症科	Outbreak of Streptococcus pyogenes emm89 ST646 in a head and neck surgical oncology ward.	Microbiol. Spectr. 2024 Apr ; 12: e0426023	Original Article
54	Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Nakatsuka, K., et al.	形成外科	Super-Microsurgical Anastomosis training using the chick embryos within the Egg-in-Cube" system."	Plast. Reconstr. Surg. 2024 Apr ; 153: 741e-745e	Original Article
55	Ogiya, A., Kimura, K., Ueno, T., et al.	乳腺外科	Time trend of breast cancer-related lymphedema according to body mass index.	Eur. J. Surg. Oncol. 2024 Jun ; 50: 108350	Original Article
56	Kobayashi, T., Nishimura, M., Hosonaga, M., et al.	乳腺内科	Absolute lymphocyte count predicts efficacy of palbociclib in patients with metastatic luminal breast cancer.	BMC Cancer. 2024 Sep; 24: 1156	Original Article
57	Hirose, Y., Oba, A., Inoue, Y., et al.	肝胆膵外科	Arterial resection and divestment in pancreatic cancer surgery in the era of multidisciplinary treatment: decadal comparative study.	BJS Open. 2025 Mar; 9: zraf026	Original Article
58	Takahashi, N., Okamura, A., Kuriyama, K., et al.	食道外科	Early Postoperative Serum Lactate Levels Predict Anastomotic Leakage After Minimally Invasive Esophagectomy.	Ann. Surg. Oncol. 2025 Feb; 32: 834-840	Original Article
59	Terayama, M., Okamura, A., Kuriyama, K., et al.	食道外科	Minimally Invasive Esophagectomy Provides Better Short- and Long-Term Outcomes Than Open Esophagectomy in Locally Advanced Esophageal Cancer.	Ann. Surg. Oncol. 2024 Aug; 31: 5748-5756	Original Article
60	Omiya, K., Inoue, Y., Kobayashi, K., et al.	肝胆膵外科	Robot-Assisted Pancreaticoduodenectomy with Hemicircumferential Dissection of Nerve Plexus Around the Superior Mesenteric Artery.	Ann. Surg. Oncol. 2024 Oct; 31: 7064-7065	Original Article
61	Kanao, H., Tamate, M., Matsuura, M., et al.	婦人科	Step-by-step demonstration of "sciatic-nerve-preserved beyond-LEER" in a Thiel-embalmed cadaver: a novel salvage surgery for recurrent gynecologic malignancies.	J. Gynecol. Oncol. 2024 Sep(オンライン)	Original Article
62	Kobayashi, K., Inoue, Y., Oba, A., et al.	肝胆膵外科	Strategies for Recurrent Colorectal Liver Metastases Based on Prognostic Factors and Resectability: Potential Benefit of Multidisciplinary Treatment.	Ann. Surg. Oncol. 2025 Mar; 32: 1729-1741	Original Article
63	Kanno, M., Yunokawa, M., Fusegi, A., et al.	婦人科	The impact of cytoreductive surgery on outcomes in high tumor burden ovarian cancer after induction of PARP inhibitors.	J. Gynecol. Oncol. 2025 Mar(オンライン)	Original Article
64	Sano, S., Akiyoshi, T., Yamamoto, N., et al.	大腸外科	Prognostic Significance of Desmoplastic Reaction After Neoadjuvant Chemoradiotherapy in Advanced Rectal Cancer.	Dis. Colon Rectum. 2025 Mar; 68: 327-337	Original Article
65	Nakajima, I., Nakaizumi, T., Tsuji, H.	眼科	Bilateral progressive orbital myositis as immune-related adverse event of pembrolizumab.	Can. J. Ophthalmol. 2024 Aug; 59: e388	Others

66	Noguchi, T., Akiyoshi, T., Sakamoto, T.,et al.	大腸外科	Features of Lateral Pelvic Lymph Nodes Associated With Pathological Involvement After Total Neoadjuvant Therapy in Patients Undergoing Lateral Pelvic Lymph Node Dissection.	Dis. Colon Rectum. 2025 Mar; 68: 316–326	Others
67	Irino, T., Ohashi, M., Hayami, M.,et al.	胃外科	Updated Review of Proximal Gastrectomy for Gastric Cancer or Cancer of the Gastroesophageal Junction.	J. Gastric. Cancer. 2025 Jan; 25: 228–246	Review
68	Izumi, A., Horiuchi, Y., Takamatsu, M.,et al.	上部消化管内科	Prognostic factors for patients 85 years or older undergoing endoscopic submucosal dissection for early gastric cancer.	Surg. Endosc. 2024 Aug; 38: 4306–4315	Original Article
69	Toyoshima, R., Uehara, J., Matsuzaki, Y.,et al.	皮膚腫瘍科	Troponin-guided utilization of methylprednisolone pulse, intravenous immunoglobulin, and mycophenolate mofetil for successful control of immune checkpoint inhibitor-related myocarditis.	J. Dermatol. 2024 Jun (オンライン)	Letter
70	Yamauchi, N., Maruyama, D.	血液腫瘍科	Current development of chimeric antigen receptor T-cell therapy for diffuse large B-cell lymphoma and high-grade B-cell lymphoma.	Eur. J. Haematol. 2024 May ; 112: 662–677	Review
71	Fukuda, N., Toda, K., Suto, H.,et al.	総合腫瘍科	Clinical impact of proteinuria on renal function and treatment outcomes in patients with radioiodine-refractory thyroid cancer treated with lenvatinib.	Endocr. J. 2024 Apr ; 71: 363–371	Original Article
72	Namikawa, K., Sverrisdottir, M., Fridgeirsson, H. F.,et al.	上部消化管内科	Characteristics and Neoplastic Progression in Barrett’s Esophagus: A Large Population-Based Study from Iceland.	Diagnostics (Basel). 2025 Mar(オンライン)	Original Article
73	Takano, T., Masuda, N., Ito, M.,et al.	乳腺内科	Long-term outcomes of neoadjuvant trastuzumab emtansine + pertuzumab (T-DM1 + P) and docetaxel + carboplatin + trastuzumab + pertuzumab (TCbHP) for HER2-positive primary breast cancer: results of the randomized phase 2 JBCRG20 study (Neo-peaks).	Breast Cancer Res. Treat. 2024 Aug; 207: 33–48	Others
74	Takemura, K., Heng, D. Y. C.	泌尿器科	Potential of neutrophil-to-eosinophil ratio as a new prognostic tool for patients with advanced renal cell carcinoma receiving first-line immuno-oncology combinations.	BMJ Oncol. 2024 Jul(オンライン)	Letter
75	Terayama, M., Ohashi, M., Yamaguchi, K.,et al.	食道外科	Feasibility and predictive factors on the completion of docetaxel plus S-1 adjuvant chemotherapy in pathological stage III gastric cancer.	Ann. Gastroenterol. Surg. 2025 Jan(オンライン)	Original Article
76	Izumi, D., Nunobe, S., Ishizuka, N.,et al.	胃外科	Identification of the factor affecting learning curves of laparoscopic gastrectomy through the experience at a Japanese high-volume center over the last decade.	Ann. Gastroenterol. Surg. 2024 Jul; 8: 604–610	Original Article
77	Matsumoto, Y., Umemura, S., Okizaki, A.,et al.	緩和治療科	Nurse-Led Screening-Triggered Early Specialized Palliative Care Program for Patients With Advanced Lung Cancer: A Multicenter Randomized Controlled Trial.	Cancer Med. 2024 Nov(オンライン)	Original Article
78	Maeda, T., Ono, M., Osako, T.,et al.	乳腺外科	Prognostic Impact of Stimulator of Interferon Genes Expression in Triple Negative Breast Cancer.	Cancer Med. 2025 Feb(オンライン)	Original Article
79	Kozu, T., Akiyoshi, T., Sakamoto, T.,et al.	大腸外科/直腸がん集学的治療センター	Risk factors for local recurrence in patients with clinical stage II/III low rectal cancer: A multicenter retrospective cohort study in Japan.	Ann. Gastroenterol. Surg. 2025 Jan; 9: 128–136	Original Article
80	Shirouchi, Y., Kaiharu, K., Sekita, T.,et al.	血液腫瘍科	Impact of M-protein detection on the response evaluations of patients undergoing treatment with the IgG-κ monoclonal antibodies daratumumab or isatuximab, and discrepancies between immunofixation electrophoresis (IFE) systems and reagents.	Cancer Med. 2024 Aug(オンライン)	Others

81	Saeki, Y., Sumi, Y., Ozaki, Y.,et al.	緩和治療科	Proposal for Managing Cancer-Related Insomnia: A Systematic Literature Review of Associated Factors and a Narrative Review of Treatment.	Cancer Med. 2024 Nov(オンライン)	Review
82	Hirose, Y., Oba, A., Takamatsu, M.,et al.	肝胆膵外科	Caveolin-1 expression is a predictor of survival and recurrence patterns in resected pancreatic ductal adenocarcinoma.	Pancreatology. 2024 Oct; 24: 1021-1030	Original Article
83	Shibuki, T., Ikeda, M., Yokoyama, M.,et al.	肝胆膵内科	Depth of response in patients with locally advanced pancreatic cancer treated with first-line chemotherapy: A supplementary analysis of JCOG1407.	Pancreatology. 2025 Mar; 25: 275-283	Original Article
84	Oba, A., Tanaka, K., Inoue, Y.,et al.	肝胆膵外科	Pancreatectomies with vein resection: Two large institutions' experience of East and West.	Pancreatology. 2025 Mar; 25: 250-257	Others
85	Fukuda, K., Osumi, H., Yoshinami, Y.,et al.	消化器化学療法科	Efficacy of anti-epidermal growth factor antibody rechallenge in RAS/BRAF wild-type metastatic colorectal cancer: a multi-institutional observational study.	J. Cancer Res. Clin. Oncol. 2024 Jul; 150: 369	Original Article
86	Kamima, T., Moriya, S., Sakae, T.,et al.	放射線治療チーム	Impact of tumor position displacement during end-exhalation breath-hold condition on tumor dose in lung stereotactic body radiation therapy using volumetric modulated arc therapy.	Clin Transl Radiat Oncol. 2025 Feb(オンライン)	Original Article
87	Nakajima, I., Shirouchi, Y., Morita, Y.,et al.	眼科	Isolated optic nerve relapse in T-cell acute lymphoblastic leukaemia.	Pract Neurol. 2025 Feb; 25: 172-173	Others
88	Mukai, T., Matsui, S., Sakurai, T.,et al.	大腸外科/直腸がん集学的治療センター	Short-term outcomes of the "minimal skin incision and no stoma" procedure in needleoscopic intersphincteric resection and delayed coloanal anastomosis for low rectal cancer.	Tech. Coloproctol. 2024 Aug; 28: 110	Review
89	Yamaguchi, T., Akiyoshi, T.	大腸外科/直腸がん集学的治療センター	Surgical anatomy of lateral lymph node dissection: landmarks and areas of dissection in minimally invasive surgery.	Tech. Coloproctol. 2025 Feb; 29: 60	Review
90	Tsuchiya, S., Koizumi, J., Takeuchi, T.,et al.	超音波診断・IVR部	Redistribution and Embolization of a Uterine Fibroid with Ovarian Arterial Supply Using Temporary Bilateral Ovarian Artery Microballoon Occlusion.	J. Vasc. Interv. Radiol. 2025 Feb; 36: 366-368	Letter
91	Ichinose, J., Suzuki, A., Matsuura, Y.,et al.	呼吸器外科	Anatomical partial lobectomy is a minimally invasive and precise procedure: beware of overuse.	J. Thorac. Dis. 2024 Jun ; 16: 3528-3530	Editorial
92	Urasaki, T., Ono, M., Yamashita, K.,et al.	総合腫瘍科	Confirmatory diagnosis and successive chemotherapeutic treatments of metastatic skeletal EWSR1::NFATC2 sarcoma: A case report.	Oncol. Lett. 2025 Jan; 29: 108	Case report
93	Tamagawa, S., Nakao, M., Oikado, K.,et al.	呼吸器外科	Prognostic impact of ground-glass opacity components in lung cancer with lymph node metastasis.	J. Thorac. Dis. 2024 May ; 16: 2975-2982	Original Article
94	Ri, M., Ohashi, M., Makuuchi, R.,et al.	胃外科	Clinical Impact of Polyglycolic Acid Mesh to Reduce Pancreas-Related Complications After Minimally Invasive Surgery for Gastric Cancer: A Propensity Score Matching Analysis.	J. Gastric. Cancer. 2024 Apr ; 24: 220-230	Original Article
95	Udagawa, S., Osumi, H., Kozuki, R.,et al.	消化器化学療法科	Clinical utility of the carcinoembryonic antigen level in patients with stage III colon cancer after surgery and adjuvant chemotherapy.	Surg. Today. 2024 Jul; 54: 692-701	Original Article
96	Ota, E., Nagasaki, T., Akiyoshi, T.,et al.	大腸外科/直腸がん集学的治療センター	Incidence and risk factors of bowel dysfunction after minimally invasive rectal cancer surgery and discrepancies between the Wexner score and the low anterior resection syndrome (LARS) score.	Surg. Today. 2024 Jul; 54: 763-770	Original Article
97	Emoto, S., Fukunaga, Y., Takamatsu, M.,et al.	大腸外科/直腸がん集学的治療センター	Prognostic factors of para-aortic lymph node metastasis from colorectal cancer in highly selected patients undergoing para-aortic lymph node dissection.	Surg. Today. 2024 Apr ; 54: 356	Original Article

98	Ono, M., Nagasaki, R., Nakamura, M.,et al.	総合腫瘍科/先端医療開発科 /トータルケアセンター	Appearance-related needs and challenges among cancer patients undergoing systemic therapy: a comprehensive survey study.	Int J Clin Oncol. 2025 Mar; 30: 469-479	Original Article
99	Hayashi, N., Mori, S., Ohmoto, A.,et al.	ゲノム診療部/臨床遺伝医療部	Availability of genome-matched therapy based on clinical practice.	Int J Clin Oncol. 2024 Jul; 29: 964-971	Original Article
100	Takahashi, R., Osumi, H., Wakatsuki, T.,et al.	消化器化学療法科	Clinical outcomes and prognostic factors of concurrent chemoradiotherapy for anal squamous cell carcinoma in Japan.	Int J Clin Oncol. 2024 Aug; 29: 1161-1172	Original Article
101	Yamauchi, N., Maruyama, D.	血液腫瘍科	Current treatment approach and future perspectives in B cell lymphoma.	Int. J. Hematol. 2025 Mar; 121: 342-355	Original Article
102	Ota, E., Fukunaga, Y., Mukai, T.,et al.	大腸外科	Cytoreductive surgery without intra-peritoneal chemotherapy for metachronous colorectal peritoneal metastases.	World J. Surg. Oncol. 2024 Aug(オンライン)	Original Article
103	Shinomiya, H., Matsuura, K., Onimaru, R.,et al.	頭頸科	Dose-finding and efficacy confirmation trial of the superselective intra-arterial infusion of cisplatin and concomitant radiation therapy for locally advanced maxillary sinus cancer (ICOG1212): final analysis.	Int J Clin Oncol. 2025 Mar; 30: 489-496	Original Article
104	Yasuda, Y., Numao, N., Urasaki, T.,et al.	泌尿器科	Efficacy and safety of adjuvant nivolumab after radical surgery for high-risk urothelial carcinoma: a preliminary report of real-world data from a single institution.	Int J Clin Oncol. 2024 Dec; 29: 1925-1930	Original Article
105	Fukai, S., Daisaki, H., Umeda, T.,et al.	核医学部	Evaluation of two-dimensional total bone uptake (2D-TBU) and bone scan index (BSI) extracted from active bone metastatic burden on the bone scintigraphy in patients with radium-223 treatment.	Ann. Nucl. Med. 2024 May ; 38: 450-459	Original Article
106	Wakatsuki, T., Ishizuka, N., Hironaka, S.,et al.	消化器化学療法科	Exploratory analysis of serum HER2 extracellular domain for HER2 positive gastric cancer treated with SOX plus trastuzumab.	Int J Clin Oncol. 2024 Jun ; 29: 801-812	Original Article
107	Yunokawa, M., Abe, A., Wang, X.,et al.	婦人科/総合腫瘍科	The efficacy and safety of lenvatinib plus pembrolizumab in vulnerable patients with metastatic or recurrent endometrial cancer: a single institution experience.	Int J Clin Oncol. 2025 Feb(オンライン)	Original Article
108	Takeda, T., Sasaki, T., Okamoto, T.,et al.	肝胆膵内科	Bone loss over time and risk of osteoporosis in advanced pancreatic cancer.	Jpn. J. Clin. Oncol. 2024 Jun ; 54: 667-674	Original Article
109	Yagi, S., Kumagai, K., Nunobe, S.,et al.	胃外科	Risk factors for early recurrence after radical gastrectomy followed by adjuvant chemotherapy for stage II or III gastric cancer: a multicenter, retrospective study.	Jpn. J. Clin. Oncol. 2024 Apr ; 54: 403-415	Original Article
110	Takahashi, S., Bando, H., Kinoshita, I.,et al.	総合腫瘍科, ゲノム診療部	Trastuzumab deruxtecan in patients with human epidermal growth factor receptor 2-expressing salivary gland carcinoma: a pooled analysis of two phase I studies.	Jpn. J. Clin. Oncol. 2024 Apr ; 54: 434-443	Original Article
111	Shirouchi, Y., Maruyama, D.	血液腫瘍科	Recent advances and future perspectives of T-cell engagers in lymphoid malignancies.	Jpn. J. Clin. Oncol. 2024 Apr ; 54: 376-385	Review
112	Harada, H., Eto, K., Ohashi, M.,et al.	胃外科	Equal short-term outcomes of intracorporeal mechanical gastrogastrotomy in laparoscopic pylorus-preserving gastrectomy for cT1N0 gastric cancer in the middle stomach compared with the extracorporeal hand-sewing method.	Surg. Endosc. 2024 Apr ; 38: 3115-3125	Original Article
113	Kuriyama, K., Okamura, A., Hayami, M.,et al.	食道外科	Is prophylactic lymph node dissection efficacious in salvage esophagectomy after definitive chemoradiotherapy?	Dis. Esophagus. 2025 Jan; 38: doaf004	Original Article
114	Ikenoyama, Y., Namikawa, K., Takamatsu, M.,et al.	上部消化管内科	Long- vs short-segment Barrett's esophagus-derived adenocarcinoma: clinical features and outcomes of endoscopic submucosal dissection.	Surg. Endosc. 2024 Jul; 38: 3636-3644	Original Article

115	Ozaki, Y., Yokoe, T., Yoshinami, T.,et al.	乳腺内科	Optimal timing of prophylactic pegylated G-CSF after chemotherapy administration for patients with cancer: a systematic review and meta-analysis from Clinical Practice Guidelines for the use of G-CSF 2022.	Int J Clin Oncol. 2024 May ; 29: 551-558	Origina Article
116	Terayama, M., Okamura, A., Oki, A.,et al.	食道外科	Predictive factors for failure of neoadjuvant docetaxel, cisplatin, and 5-fluorouracil therapy in esophageal squamous cell carcinoma.	Dis. Esophagus. 2025 Jan; 38: doae115	Origina Article
117	Omi, M., Tanaka, Y. O., Kurihara, N.,et al.	婦人科	Preoperative diagnosis of cervical cystic lesions using magnetic resonance imaging: a retrospective study.	BMC women's health. 2024 Aug(オンライン)	Origina Article
118	Hu, Q., Ohashi, M., Ri, M.,et al.	胃外科	Safety of robotic double-flap technique following proximal gastrectomy in the introductory phase compared with laparoscopic procedure: a propensity score-matched analysis.	Surg. Endosc. 2024 Oct; 38: 5824-5831	Origina Article
119	Hara, F., Nagasaki, R., Minami, R.,et al.	乳腺内科	Survey on adverse events associated with drug therapy for breast cancer patients.	BMC women's health. 2024 Oct(オンライン)	Origina Article
120	Kitano, Y., Inoue, Y., Kobayashi, H.,et al.	肝胆膵外科	Development of the multiple scope transition method in robotic pancreaticoduodenectomy.	Surg. Endosc. 2024 Oct; 38: 6169-6176	Others
121	Sato, K., Takemura, K., Oki, R.,et al.	泌尿器科	Prognostic significance of body mass index in patients with metastatic renal cell carcinoma receiving first-line therapies.	Urol Oncol. 2025 Mar; 43: 269 e1-269 e6	Review
122	Sato, S., Inoue, Y., Oba, A.,et al.	肝胆膵外科	Scope transition and early arterial inflow control provide safe and comfortable dissection in robotic distal pancreatectomy.	Langenbecks Arch. Surg. 2024 Jun ; 409: 171	Others
123	Akita, T., Ariyasu, R., Kakuto, S.,et al.	呼吸器内科	Distinction of ALK fusion gene- and EGFR mutation-positive lung cancer with tumor markers.	Thorac. Cancer. 2024 Apr ; 15: 788-796	Origina Article
124	Sugitani, I., Nagaoka, R., Saitou, M.,et al.	頭頸科	Long-term outcomes of active surveillance for low-risk papillary thyroid carcinoma: Progression patterns and tumor calcification.	World J. Surg. 2025 Jan; 49: 159-169	Origina Article
125	Matsui, R., Nunobe, S., Ri, M.,et al.	胃外科	Post-radical gastrectomy long-term survival and etiologies of mortalities in older adult patients greater than 80 years of age with gastric cancer.	World J. Surg. 2025 Jan; 49: 230-240	Origina Article
126	Watanabe, M., Takahashi, N., Tamura, M.,et al.	食道外科	Gastric conduit reconstruction after esophagectomy.	Dis. Esophagus. 2024 Oct;(オンライン)	Review
127	Matsui, R., Yonezu, K., Rifu, K.,et al.	胃外科	Impact of sarcopenic obesity on postoperative outcomes in patients with oesophago-gastric cancer: A systematic review and meta-analysis.	World J. Surg. 2025 Feb; 49: 459-471	Review
128	Ohmoto, A., Fujii, S.	総合腫瘍科	Spontaneous regression in mature T-cell non-Hodgkin lymphoma.	Expert Rev. Hematol. 2025 Jan; 18: 47-55	Review
129	Ninomiya, H., Togashi, Y., Sugita, K.,et al.	病理部/病院病理	Two rare ALK fusion variants overlooked by multiplexed gene testing: The crucial role of immunohistochemistry in ensuring comprehensive molecular testing.	Pathol. Int. 2025 Feb; 75: 124-126	Letter
130	Ninomiya, H.	病理部/病院病理	Resurgence of morphology: Discarded small cell lung carcinoma subtypes reflect current molecular classification.	Pathol. Int. 2024 Jul; 74: 419-421	Letter
131	Shimizu, R., Yoshio, T., Hijikata, K.,et al.	上部消化管内科	Characteristics of multiple esophageal squamous cell carcinomas detected in the surveillance after endoscopic resection.	Esophagus. 2025 Jan; 22: 115-123	Origina Article
132	Serizawa, I., Kozuka, T., Soyano, T.,et al.	放射線治療部	Clinical and Dosimetric Comparison between Non-Image-Guided Radiation Therapy and Fiducial-Based Image-Guided Radiation Therapy with or without Reduced Margin in Intensity-Modulated Radiation Therapy for Prostate Cancer.	Adv. Radiat. Oncol. 2024 Oct; 9: 101612	Origina Article

133	Okamura, A., Watanabe, M., Okui, J.,et al.	食道外科	Esophagectomy for esophageal cancer in patients with a history of total pharyngolaryngectomy: a Japanese nationwide retrospective cohort study.	Esophagus. 2024 Oct; 21: 438–446	Original Article
134	Tamba, M., Okamura, A., Osumi, H.,et al.	消化器化学療法科	Lymph–node ratio as a risk factor for recurrence following neoadjuvant docetaxel, cisplatin, and 5–fluorouracil therapy for locally advanced esophageal squamous cell carcinoma.	Esophagus. 2025 Feb; 22: 166–176	Original Article
135	Ikenoyama, Y., Namikawa, K., Takamatsu, M.,et al.	上部消化管内科	Risk stratification for synchronous/metachronous recurrence after endoscopic submucosal dissection for Barrett’s esophageal adenocarcinoma using the length of Barrett’s esophagus.	Esophagus. 2024 Jul; 21: 357–364	Original Article
136	Kuriyama, K., Okamura, A., Kanamori, J.,et al.	食道外科	Anatomical factor associated with thoracic procedural difficulty in robot–assisted minimally invasive esophagectomy.	Langenbecks Arch. Surg. 2024 Jun ; 409: 190	Original Article
137	Ichinose, J., Suzuki, A., Matsuura, Y.,et al.	呼吸器外科	Impact of tumor location and pleural invasion on the frequency of skip hilar lymph node metastasis in lung cancer.	J. Thorac. Dis. 2024 Sep; 16: 5958–5968	Original Article
138	Takahashi, N., Okamura, A., Ishii, M.,et al.	食道外科	Intensified outpatient nutrition management improves body weight and skeletal muscle loss after esophageal cancer surgery: a single–center, retrospective, single–arm clinical study.	Langenbecks Arch. Surg. 2024 Nov; 409: 333	Original Article
139	Okamoto, T., Sasaki, T., Takeda, T.,et al.	肝胆膵内科	Outcomes of partially covered self–expandable metal stents with different uncovered lengths in endoscopic ultrasound–guided hepaticogastrostomy: a Japanese retrospective study.	Clin. Endosc. 2024 Jul; 57: 515–526	Original Article
140	Terayama, M., Ohashi, M., Ri, M.,et al.	食道外科	Possible muscle–sparing advantage and bodyweight maintenance of laparoscopic gastrectomy for older patients with locally advanced gastric cancer.	Langenbecks Arch. Surg. 2024 Nov; 409: 365	Original Article
141	Seki, M., Saiura, A., Takahashi, Y.,et al.	肝胆膵外科	Surgical treatment of pancreatic metastases: More appropriate surgical methods based on a clinicopathologic study of 43 patients.	Langenbecks Arch. Surg. 2024 Dec; 409: 371	Original Article
142	Yoshimatsu, H., Cho, M. J., Inoue, K.,et al.	形成外科	Combining indocyanine green lymphography and ultrasonography findings to identify lymphatic vessels in advanced–stage lymphedema: The milestone and swirl sign approach.	J. Plast. Reconstr .Aesthet. Surg. 2025 Mar; 102: 134–141	Original Article
143	Seki, Y., Okino, T., Nemoto, H.,et al.	形成外科	Lymphaticovenular Anastomosis as a Treatment for Neurogenic Bladder in Patients With Lower Extremity Lymphedema After Gynecologic Cancer Treatment.	J. Surg. Oncol. 2025 Jan; 131: 77–83	Original Article
144	Nakao, M., Suzuki, A., Ichinose, J.,et al.	呼吸器外科	Risk of Death From Other Diseases in Lung Cancer Patients After Sublobar Resection Versus Lobectomy.	J. Surg. Oncol. 2025 Mar; 131: 380–387	Original Article
145	Watanabe, H., Oikado, K., Sato, Y.,et al.	画像診断部	A Case of Colloid Adenocarcinoma of the Lung With Coarse Calcification.	J. Thorac. Imaging. 2024 Oct; 39: W108–W110	Review
146	Yoshimatsu, H., Cho, M. J., Karakawa, R.,et al.	形成外科	The role of lymphatic system transfer (LYST) for treatment of lymphedema: A long–term outcome study of SCIP flap incorporating the lymph nodes and the afferent lymphatic vessels.	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2025 Feb; 101: 15–22	Review
147	Chirapongsathorn, S., Suzuki, S., Prasanwon, P.,et al.	上部消化管内科	Comparison of Colon Adenoma Detection Rate Using Transparent Cap–Assisted and Conventional Colonoscopy: Result from an International Trial in Asia.	Dig. Dis. 2025 Feb; 43: 215–224	Original Article
148	Serizawa, I., Kozuka, T., Soyano, T.,et al.	放射線治療部	Impact of neoadjuvant androgen deprivation therapy on toxicity in intensity–modulated radiation therapy for prostate cancer.	J. Radiat. Res. 2024 Aug; 65: 693–700	Original Article

149	Matsubayashi, F., Takahashi, T., Miyauchi, H.,et al.	放射線治療チーム	Modeling of a tissue expander with a radiofrequency identification port in postmastectomy radiation therapy planning.	J. Radiat. Res. 2024 May ; 65: 360-368	Original Article
150	Uehara, M., Bekki, N., Shiga, T.	総合診療部	Radiation-associated cardiovascular disease in patients with cancer: current insights from a cardio-oncologist.	J. Radiat. Res. 2024 Oct; 65: 575-590	Original Article
151	Funauchi, Y., Tsukushi, S., Hiraga, H.,et al.	整形外科	Study protocol: randomized phase III trial of neo-adjuvant and adjuvant chemotherapy vs. immediate surgery and adjuvant chemotherapy for localized soft tissue sarcoma: Japan Clinical Oncology Group study JCOG2102 (NACLESS)	Jpn. J. Clin. Oncol. 2025 Mar(オンライン)	Original Article
152	Suzuki, W., Gando, Y., Yasu, T.	薬剤部	Development of a simple high-performance liquid chromatography-ultraviolet detection method for selpercatinib determination in human plasma.	Drug Discov Ther. 2024 Dec; 18: 387-390	Others
153	Kumagai, K., Yoshida, M., Ishida, H.,et al.	胃外科	Diagnostic Performance of Near-Infrared Fluorescent Marking Clips in Laparoscopic Gastrectomy.	J. Surg. Res. 2024 May ; 300: 157-164	Original Article
154	Terayama, M., Kumagai, K., Ri, M.,et al.	食道外科	Feasibility of a "Stomach-preserving Strategy" for Perforated Gastric Cancer in Patients With Distant Metastasis.	In Vivo. 2025 Mar; 39: 969-975	Original Article
155	Yasuda, Y., Numao, N., Fujiwara, R.,et al.	泌尿器科	Surgical outcomes and predictive value for major complications of robot-assisted radical cystectomy of real-world data in a single institution in Japan.	Int J Urol. 2024 Jul; 31: 724-729	Original Article
156	Matsubayashi, F., Kamima, T., Ito, Y.,et al.	放射線治療チーム	Air inflow into vacuum-type immobilization devices impacts setup errors.	Radiol. Phys. Technol. 2024 Sep; 17: 697-702	Original Article
157	Matsumura, M., Mise, Y., Takemura, N.,et al.	肝胆膵外科	An elemental diet reduces chylous ascites of patients undergoing pancreatoduodenectomy in the setting of early enteral feeding.	Pancreas. 2024 Apr ; 53: e343	Original Article
158	Nunobe, S., Endo, H., Honda, M.,et al.	胃外科	Impact of treatment guidelines and pivotal clinical trial results on a surgeon's decision regarding treatment for gastric cancer: a retrospective cohort study using the National Clinical Database.	Surg. Today. 2024 Sep; 54: 1084-1092	Original Article
159	Sakurai, T., Hiyoshi, Y., Daitoku, N.,et al.	大腸外科/直腸がん集学的治療センター	Risk factors for and prognostic impact of lateral pelvic lymph node metastasis in patients with rectal neuroendocrine tumors: a single-center retrospective analysis of 214 cases with radical resection.	Surg. Today. 2025 Feb; 55: 144-153	Original Article
160	Hashimoto, K., Kato, D., Ichinose, J.,et al.	呼吸器外科	A prospective study of a training program for bronchial sleeve resection using operable 3-dimensional models.	JTCVS Tech. 2024 Oct(オンライン)	Others
161	Tachibana, T., Nakao, M., Ninomiya, H.,et al.	呼吸器外科	Minimally invasive surgery for intradiaphragmatic bronchogenic cyst.	JTCVS Tech. 2024 Jun(オンライン)	Case report
162	Kamima, T., Ueda, Y., Fukunaga, J. I.,et al.	放射線治療部放射線治療チーム	Enhancing Estimation Accuracy of Prostate Cancer VMAT Planning: A Knowledge-based Approach Using Multiple Collimator Angles.	Anticancer Res. 2024 Dec; 44: 5303-5312	Original Article
163	Murakami, A., Nomura, H., Abe, A.,et al.	婦人科	Influence of COVID-19 on the clinical characteristics of patients with uterine cervical cancer in Japan: A single-center retrospective study.	J. Obstet. Gynecol. Res. 2024 Dec; 50: 2280-2285	Original Article
164	Okamoto, T., Takeda, T., Sasaki, T.,et al.	肝胆膵内科	Liver Oligometastasis in Biliary Tract Cancer and Impact on Survival Outcomes.	J. Gastrointest. Cancer. 2024 Aug; 55: 1530-1540	Original Article
165	Fusegi, A., Nomura, H., Ueki, A.,et al.	婦人科	Ovarian surveillance including endometrial cytology for patients with hereditary breast and ovarian cancer before risk-reducing salpingo-oophorectomy: A retrospective analysis.	J. Obstet. Gynecol. Res. 2024 Jun ; 50: 1002-1009	Original Article
166	Hayashi, K., Ono, Y., Oba, A.,et al.	肝胆膵外科	Posthepatectomy Liver Failure in Patients with Splenomegaly Induced by Induction Chemotherapy for Colorectal Liver Metastases.	J. Gastrointest. Cancer. 2025 Jan; 56: 13	Original Article

167	Baba, H., Oba, A., Tanaka, K.,et al.	肝胆膵外科	The efficacy of wrapping with polyglycolic acid mesh and fibrin glue in preventing clinically relevant pancreatic fistula after minimally invasive distal pancreatectomy (WRAP Study): study protocol for a multicenter randomized controlled trial in Japan.	BMC Surg. 2024 Oct(オンライン)	Others
168	Yoshimatsu, H., Nakatsuka, K., Karakawa, R.,et al.	形成外科	The Piggyback Superficial Circumflex Iliac Perforator Flap for Complex Free Flap Reconstructions.	Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open. 2024 Jun (オンライン)	Case report
169	Otsuka, W., Karakawa, R., Yoshimatsu, H.,et al.	形成外科	Breast reconstruction using a superficial inferior epigastric artery flap with pedicle elongation via an arteriovenous loop: A case report.	Microsurgery. 2024 May ; 44: e31183	Case report
170	Shirota, M., Karakawa, R., Yano, T.,et al.	形成外科	Using Descending Genicular Artery as the Recipient Artery for Free Superficial Circumflex Iliac Artery Perforator Flap.	Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open. 2024 Sep(オンライン)	Case report
171	Nakatsuka, K., Yano, T., Omotehara, T.,et al.	形成外科	Anatomical Landmarks of the Facial Artery and Vein for Intraoral Anastomosis: A Cadaveric Study.	Microsurgery. 2025 Jan; 45: e70004	Origina Article
172	Nakatsuka, K., Fuse, Y., Karakawa, R.,et al.	形成外科	Indocyanine Green Lymphography-guided Lymphatic Vessel Suture Ligation for Superficial Abdominal Flap Donor Site for Breast Reconstruction.	Plast. Reconstr. Surg. Glob. Open. 2024 Aug(オンライン)	Origina Article
173	Karakawa, R., Yoshimatsu, H., Imai, H.,et al.	形成外科	L-Shaped Scapular and Parascapular Combined Flap for Reconstruction of a Large Surface Defect After Sarcoma Resection Using ICG Angiography: A Case Series of 6 Patients.	Microsurgery. 2024 Nov; 44: e31259	Review
174	Fukata, K., Fukunaga, Y., Hiyoshi, Y.,et al.	大腸外科	Clinical Outcomes and Prognostic Factors for R0 Resected Colorectal Cancer with Synchronous Peritoneal Metastasis: A Retrospective Study.	J. Anus Rectum Colon. 2024 Oct(オンライン)	Origina Article
175	Mie, T., Sasaki, T., Kobayashi, K.,et al.	肝胆膵内科	Impact of preoperative self-expandable metal stent on benign hepaticojunostomy anastomotic stricture after pancreaticoduodenectomy.	DEN Open. 2024 Apr ; 4: e307	Origina Article
176	Nakagawa, H., Takeda, T., Okamoto, T.,et al.	肝胆膵内科	Outcomes of 6-mm diameter fully covered self-expandable metal stents for preoperative biliary drainage in pancreatic cancer.	DEN Open. 2024 Apr ; 4: e360	Origina Article
177	Sato, K., Matsui, S., Chiba, T.,et al.	大腸外科	Prognostic Impact of Potentially Curative Resection for Synchronous Peritoneal Carcinomatosis with Lavage Cytology Positivity in Colorectal Cancer: A Retrospective Observational Study.	J. Anus Rectum Colon. 2025 Jan; 9: 52-60	Origina Article
178	Sato, K., Fukunaga, Y., Takamatsu, M.,et al.	大腸外科	Short- and Long-term Outcomes of One-stage Radical Resection and Anastomosis without Preoperative Decompression and Diverting Stoma between Incomplete Obstructive and Non-obstructive Left-sided Colorectal Cancer: A Retrospective Observational Study.	J. Anus Rectum Colon. 2025 Jan; 9: 41-51	Origina Article
179	Ito, R., Motegi, K., Yamashita, K.,et al.	画像診断センター核医学部	Effectiveness of Data-Driven Gating FDG PET/CT for Abdominal Region.	J. Nucl. Med. Technol. 2025 Mar; 53: 24-29	Origina Article
180	Murakami, A., Nomura, H., Sugiyama, Y.,et al.	婦人科	Successful Surveillance Using Endometrial Cytology in a Woman With Lynch Syndrome.	Cureus. 2024 Sep(オンライン)	Case report
181	Nakajima, I., Yoshino, K., Tsuji, H.	眼科	Vogt-Koyanagi-Harada-like uveitis as an immune-related adverse event of BRAF/MEK inhibitor treatment.	J Fr Ophtalmol. 2025 Feb; 48: 104357	Letter
182	Nakano, K., Hayashi, N., Wang, X.,et al.	総合腫瘍科	Gemcitabine-Based Chemotherapy for Advanced Soft Tissue Sarcoma: Identifying the Appropriate Dose and Schedule.	Cureus. 2024 Dec; 16: e76149	Origina Article
183	Nakajima, I., Takeuchi, K., Nakaizumi, T.,et al.	眼科	Adult-onset Conjunctival Xanthogranuloma.	Ophthalmic Plast Reconstr Surg. 2025 Jan(オンライン)	Others

184	Nakajima, I., Nakaizumi, T., Tsuji, H.	眼科	Lacrimal canaliculitis as a mimicker of conjunctival tumor.	J Fr Ophtalmol. 2024 Sep(オン ライン)	Others
185	Nakajima, I., Tsuji, H.	眼科	Multiple eyelid squamous cell carcinomas as adverse effects of voriconazole.	J Fr Ophtalmol. 2025 Feb; 48: 104434	Others
186	Nakajima, I., Tsuji, H.	眼科	Non-neurogenic diplopia: External ocular muscle metastasis.	J Fr Ophtalmol. 2025 Feb; 48: 104436	Others
187	Nakajima, I., Tsuji, H.	眼科	Ocular necrotizing fasciitis exacerbated after local steroid injection.	J Fr Ophtalmol. 2025 Jan; 48: 104396	Others
188	Nakajima, I., Takeuchi, K., Nakaizumi, T.,et al.	眼科	Pyoderma Gangrenosum: Uncommon Cause of Eyelid Swelling.	Ophthalmic Plast Reconstr Surg. 2025 Feb(オンライン)	Others
189	Nakajima, I., Takeuchi, K., Tsuji, H.	眼科	Ulcerated eyelid lesion leading to a lymphomatoid papulosis diagnosis.	J Fr Ophtalmol. 2025 Jan; 48: 104395	Others
190	Matsumoto, Y., Uehara, Y., Mizushima, A.,et al.	緩和治療科	Availability of, Barriers to Performing, and Educational Practices of Interventional Procedures for Refractory Pain in Cancer Patients: A Nationwide Survey of Designated Cancer Hospitals in Japan.	Palliat Med Rep. 2024 Dec(オン ライン)	Origina Article
191	Okamura, A., Watanabe, M., Miyazaki, N.,et al.	食道外科	Effect of Perioperative Inhaled Tiotropium for patients with chronic Obstructive Pulmonary disease in Esophageal cancer surgery (EPITOPE): an open-label, randomized, parallel-group pilot study.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2025 Jan; 73: 58-65	Origina Article
192	Takeda, T., Sasaki, T., Okamoto, T.,et al.	肝胆膵内科	Efficacy of Amorelin in Advanced Pancreatic Cancer Patients with a Poor Performance Status.	Intern. Med. 2025 Feb; 64: 351- 358	Origina Article
193	Kanamori, J., Watanabe, M., Maruyama, S.,et al.	食道外科	Fully robotic side-to-side stapled anastomosis provides less anastomotic leakage than conventional minimally invasive approach in Ivor Lewis esophagectomy.	Asian J. Endosc. Surg. 2024 Jun (オンライン)	Origina Article
194	Amada, A., Amada, E., Mitobe, Y.,et al.	胃外科	The Influence of Total Fat Mass and Skeletal Muscle Mass Index on the Occurrence of Perioperative Hypothermia in Patients Undergoing Open Gastrectomy.	Yonago Acta Med. 2024 Nov; 67: 321-328	Origina Article
195	Tamagawa, S., Matsuura, Y., Ichinose, J.,et al.	呼吸器外科	Utility of visualization and quantification of surgical techniques using motion analysis software for thoracoscopic surgery.	Asian J. Endosc. Surg. 2024 Jun (オンライン)	Origina Article
196	Mishima, Y., Shirouchi, Y., Takayama, T.,et al.	血液腫瘍科	Impact of NRAS mutation on efficacy of triplet induction therapy in newly diagnosed multiple myeloma.	J Clin Exp Hematop. 2025 Jan; 65: 72-76	Others
197	Kido, K., Ikenoyama, Y., Yoshimizu, S.,et al.	上部消化管内科	Four cases of early stage poorly differentiated non-ampullary duodenal adenocarcinoma: a case report.	Clin. J. Gastroenterol. 2025 Jan; 18: 74-80	Case report
198	Ishikawa, S., Hirashima, J., Hiroyama, M.,et al.	麻酔科	Analysis of factors related to anesthetic management affecting acute kidney injury occurring within 72 h after esophagectomy for esophageal cancer: a historical cohort study.	JA Clin Rep. 2024 Nov; 10: 74	Origina Article
199	Maekawa, A., Sato, T., Tsuchiya, S.,et al.	超音波診断・IVR部	A Multimodal Approach Utilizing Balloon Occlusion for Postpancreatectomy Hemorrhage: A Case Report.	Surg. Case Rep. 2025 Feb; 11: icr.24-0014	Case report
200	Sawa, Y., Inoue, Y., Kobayashi, K.,et al.	肝胆膵外科	A Robotic Pancreaticoduodenectomy Case Involving a Meandering Main Pancreatic Duct Coursing Posterior to a Replaced Common Hepatic Artery and in Front of the Portal Vein.	Surg. Case Rep. 2025 Mar(オン ライン)	Case report
201	Ando, Y., Sakurai, T., Ozaki, K.,et al.	大腸外科/直腸がん集学的 治療センター	Integrating surgical intervention and watch-and-wait approach in dMMR metastatic rectal cancer with pembrolizumab: a case report.	Surg. Case Rep. 2024 Aug(オン ライン)	Case report
202	Kamata, M., Aoki, Y., Ikki, A.,et al.	婦人科	Long-term conservative treatment of chylous ascites in gynecological malignant surgery: a case report and literature review.	Int. Cancer Conf. J. 2025 Jan(オ ンライン)	Case report

203	Nishino, S., Yunokawa, M., Matsuura, Y.,et al.	婦人科	Secondary spontaneous pneumothorax during chemotherapy with bevacizumab for cervical cancer: a case report and literature review.	Int. Cancer Conf. J. 2024 Oct(オンライン)	Case report
204	Tomomatsu, T., Shimizu, H., Yokokawa, T.,et al.	薬剤部	Cost of Pegfilgrastim for the Prophylaxis of Chemotherapy-induced Febrile Neutropenia in Patients with Breast Cancer Receiving Perioperative Chemotherapy in Daily Practice in Japan.	YAKUGAKU ZASSHI. 2024 Sep; 144: 897-904	Original Article

計204件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of print やin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report, Review, Letter, Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院にお ける所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Nishio, M., Watanabe, S., Udagawa, H.,et al.	呼吸器内科	Integrated analysis of older adults and patients with renal dysfunction in the IMpower130 and IMpower132 randomized controlled trials for advanced non-squamous non-small cell lung cancer.	Lung Cancer 2024 Oct; 196: 107859	Editorial
2	Uehara, M., Morita, H.	総合診療部	Is Isolated Cardiac Sarcoidosis an Independent Disease Entity with Poor Prognosis in Sarcoidosis Cases?	Int. Heart J. 2024 Oct; 65: 789-791	Editorial
3	Kanamori, J., Watanabe, M.	食道外科	Robotic-assisted minimally invasive esophagectomy (RAMIE)—leveraging the advantages of robotics compared to conventional thoracoscopic surgery.	Ann Esophagus. 2024 Dec; 7: 23	Editorial
4	Watanabe, M.	食道外科	Skeletal Muscle Loss During Neoadjuvant Therapy for Esophageal Cancer: Is it an Unpreventable Event due to Tumor Progression or Manageable by Intervention?	Ann. Surg. Oncol. 2024 Nov; 31: 7661-7662	Editorial
5	Ichinose, J., Okamura, A.	呼吸器外科	The search for cancer using light having longer wavelength.	Ann. Surg. Oncol. 2024 Apr ; 31: 2196-2197	Editorial
6	Nishino, T., Yamamoto, S., Numao, N.,et al.	泌尿器科	Predictors of Progression to Castration-resistant Prostate Cancer After Radical Prostatectomy in High-risk Prostate Cancer Patients.	Cancer Diagn. Progn. 2024 Sep(オンライン)	Review
7	Aida, Y., Yasuda, Y., Sugawara, E.,et al.	泌尿器科	A case of seminal vesicle metastasis from bilateral seminoma.	IJU case reports. 2025 Mar; 8: 97-99	Case report
8	Sato, Y., Matsueda, K., Inaba, Y.,et al.	超音波診断・IVR部	Lymphatic Interventional Radiology for Postoperative Lymphatic Leakage.	Dig Dis Interv. 2024 Sep; 8: 203-210	Review

9	Shimozaki, K., Ooki, A., Yamahata, Y., et al.	消化器化学療法科	Managing zolbetuximab-induced nausea and vomiting: a proposal for a pragmatic approach in clinical practice.	ESMO Gastrointest Oncol. 2025 Mar(オンライン)	Original Article
10	Shimozaki, K., Fukuda, K., Ooki, A., et al.	消化器化学療法科	Safety and efficacy of first-line nivolumab plus chemotherapy for HER2-negative advanced gastric or gastroesophageal junction adenocarcinoma: real-world data analysis.	ESMO Gastrointest Oncol. 2024 Sep(オンライン)	Original Article
11	Omiya, K., Inoue, Y., Kobayashi, K., et al.	肝胆膵外科	ASO Author Reflections: Advanced Techniques in Robot-Assisted Pancreaticoduodenectomy with Dissection of the Nerve Plexus Around the Superior Mesenteric Artery for Invasive Pancreatic Head Cancer.	Ann. Surg. Oncol. 2024 Oct; 31: 7076-7077	Others
12	Ono, Y., Inoue, Y., Ito, H., et al.	肝胆膵外科	ASO author reflections: Advancing two-stage hepatectomy: Laparoscopic portal vein ligation and embolization for initially unresectable colorectal liver metastases.	Ann. Surg. Oncol. 2024 May ; 31: 3114	Others
13	Terayama, M., Okamura, A., Kanamori, J., et al.	食道外科	ASO Author Reflections: Highlighted Advantages of Minimally Invasive Esophagectomy Over Open Esophagectomy in Locally Advanced Esophageal Cancer.	Ann. Surg. Oncol. 2024 Sep; 31: 6032-6033	Others

計13件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	☒ 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	☒ 有・無
・ 手順書の主な内容 ・ 手順書の主な内容 ① 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する標準業務手順書 ② 公益財団法人がん研究会医学系研究倫理審査委員会標準業務手順書	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 12回 (迅速審査は適宜開催)

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	☒ 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	☒ 有・無
・ 公益財団法人がん研究会 医学研究に関する利益相反マネジメントポリシー ・ 公益財団法人がん研究会 医学研究に関する利益相反の管理に関する規約 ・ 利益相反委員会規程	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 1 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 2 回
・ APRIN e-ラーニングプログラム(医学系研究者標準コース)：2024年4月～8月に受講（1回） ・ ICRweb（e-ラーニング）：2024年4月～2025年3月に1回受講	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各コース、プログラムに従い研修を進める。また、各コースプログラムのローテーションを希望する医師は、選択したコースプログラムに関連する診療科部門を3ヶ月から最大12ヶ月の期間で研修を行う。研修にあたっては、各コースとも、教育責任者1名と学会専門医などの資格を有する指導医を複数名配置し、チーム全体での指導が受けられる体制をとっている。

更に、各診療科のカンファレンスにも参加し、特にカンサーボードでの検討に基づく集学的医療を実践する。加えて基礎的ながん研究を行うがん研究所も併設しており、専門の研究者との交流も行い知識を深めてもらう。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	144 人
-------------	-------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
西尾 誠人	呼吸器内科	呼吸器センター長	36 年	
山口 研成	消化器内科	部長	35 年	
高野 利実	乳腺内科	部長	27 年	
丸山 大	血液腫瘍科	部長	26 年	
三浦 裕司	総合腫瘍科	部長	23 年	
米瀬 淳二	感染症科 泌尿器科	部長	39 年	
松本 禎久	緩和治療科	緩和ケアセンター長	26 年	
清水 研	腫瘍精神科	部長	27 年	
吉野 公二	皮膚腫瘍科	部長	26 年	
金尾 祐之	婦人科	部長	28 年	
辻 英貴	眼科	部長	33 年	
文 敏景	呼吸器外科	部長	28 年	
渡邊 雅之	消化器外科	部長	35 年	
上野 貴之	乳腺外科	部長	33 年	
阿江 啓介	整形外科	部長	32 年	
矢野 智之	形成外科	部長	25 年	
三谷 浩樹	頭頸科	部長	37 年	
宮北 康二	脳腫瘍外科	部長	32 年	
吉岡 靖生	放射線治療部	部長	30 年	
河内 洋	病理部	部長	28 年	
寺嶋 克幸	麻酔科 集中治療部 救急部	部長	32 年	
阿部 雅修	歯科口腔外科	部長	21 年	
森 健作	画像診断部	部長	31 年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべ

てのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

- ① ICLS講習会
- ② BLS講習会

・研修の期間・実施回数

- ① 2024年6月1日、2024年10月19日、2025年1月25日 計3回
- ② 2024年5月～2025年2月の期間で18回

・研修の参加人数

- ① 35人
- ② 137人

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

・研修の期間・実施回数

・研修の参加人数

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ① 2024年 9月7日：がん診療等に係る医師等に関する緩和ケア研修会web形式（13人）
- ② 2024年12月14日：がん診療等に係る医師等に関する緩和ケア研修会web形式（22人）
- ③ 2024年 6月 8日：薬剤師研修会第1回web形式（353人）
- ④ 2024年11月 9日：薬剤師研修会第2回Hybrid形式（361人）
- ⑤ 2025年 2月 9日：薬剤師研修会第3回Hybrid形式（313人）
- ⑥ 2024年12月12日：看護師研修会web形式（302人）
- ⑦ 2025年 3月 8日：放射線腫瘍医研修会web形式（109人）
- ⑧ 2025年 3月21日：がんの薬物療法研修会web形式（120人）
- ⑨ 2025年 2月 7日～3月7日：診療放射線技師研修会web形式（283人）
- ⑩ 2025年 2月13日：東京都緩和ケア研修会web形式（多職種）1回目（13人）
- ⑪ 2025年 2月25日：東京都緩和ケア研修会web形式（多職種）2回目（9人）
- ⑫ 2025年 3月12日：東京都緩和ケア研修会web形式（多職種）3回目（10人）

①～⑫合計 開催回数：12回 合計参加者数：1908人

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	佐野 武	
管理担当者氏名	各管理責任部署の長	

		保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	院長室
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	手術室
		看護記録	IT推進課
		検査所見記録	IT推進課
		エックス線写真	IT推進課
		紹介状	IT推進課
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	IT推進課
		従業者数を明らかにする帳簿	人事部
		高度の医療の提供の実績	先進がん治療開発センター
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課及び高難度新規医療技術管理部
		高度の医療の研修の実績	人事部
		閲覧実績	各管理責任部署
	第一規則	紹介患者に対する医療提供の実績	医事部及びIT推進課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事部及び薬剤部
	第一規則	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部

		医療に係る安全管理のための委員会 の開催状況	医療安全管理部	…医療安全管理委員会の開催記録（議事録等）をファイル保管、及び、共有ファイルにデータ保管。
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	…医療安全職員研修会の開催記録をファイル保管。 …各現場からのIALレポート報告及びその改善のための医療安全管理委員会等での検討内容をファイル保管。
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	

			保 管 場 所	管 理 方 法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	院内感染対策部	…ファイル保管の上、電子カルテにて、常時閲覧可。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	院内感染対策部	…院内感染対策委員会の開催記録(議事録等)をファイル保管、及び共有ファイルにデータ保管。
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	院内感染対策部	…院内感染対策研修会の開催記録をファイル保管。
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	院内感染対策部	…各現場からのレポート報告及びその改善のための委員会等での検討内容をファイル保管
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	…医薬品安全管理責任者を配置。
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	…医薬品の安全使用のための研修の開催記録をファイル保管。
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	…薬剤部にてファイル保管。
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	…医薬品情報管理室にて医薬品情報の収集、評価等を実施し、記録をファイル保管。
		医療機器安全管理責任者の配置状況	MEセンター	…医療機器安全管理責任者を配置。
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	MEセンター	…医療機器の安全使用のための研修の開催記録をファイル保管。
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	購買課	…自主点検及びメーカー等による保守点検記録等をファイル保管。
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	購買課	…購買課にて医療機器情報の収集、評価等を実施し、記録をファイル保管。

		保 管 場 所	管 理 方 法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課	…医療安全管理責任者を配置し、組織図で明示。
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療クオリティマネジメントセンター	…院内感染対策の専任者を配置。
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部	…薬剤部にてファイル保管
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	診療情報管理室	…インフォームドコンセント委員会の開催記録(議事録等)をファイル保管、及び共有ファイルにデータ保管。
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	診療情報管理室	…診療情報管理委員会の開催記録(議事録等)をファイル保管、及び共有ファイルにデータ保管。
		医療安全管理部門の設置状況	医療クオリティマネジメントセンター	…医療安全管理責任者を配置し、医療安全管理部、院内感染対策部、クオリティインプループメント部、医療クオリティマネジメント部を統括している。
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療クオリティマネジメントセンター	…平成28年10月1日付で医療クオリティマネジメントセンターに高難度新規医療技術管理部を設置。
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療クオリティマネジメントセンター	…平成28年10月1日付で医療クオリティマネジメントセンターに未承認新規医薬品等管理部を設置。
		監査委員会の設置状況	医療クオリティマネジメントセンター	…平成28年8月10日付で監査委員会を設置し、平成28年度は委員会を2回開催。
入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療クオリティマネジメントセンター	…医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。		

	他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療クオリティマネジメントセンター	…医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談室	…患者相談室でファイル保管。
	医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	監査コンプライアンス室	…監査コンプライアンス室でファイル保管。
	職員研修の実施状況	医療クオリティマネジメントセンター	…医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。
	管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療クオリティマネジメントセンター	…医療クオリティマネジメントセンター事務室でファイル保管。
	管理者が有する権限に関する状況	総務部	…総務部でファイルにて保管。
	管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	内部監査室	…監査室でファイルにて保管。
	開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務部	…総務部でファイルにて保管。

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状	
閲覧責任者氏名	佐野武		
閲覧担当者氏名	総務部 総務課 山崎周士		
閲覧の求めに応じる場所	総務課、患者相談窓口、相談室等		
閲覧の手続の概要			
総務課、患者相談窓口にて閲覧申請の初期対応を実施。申請内容により各記録の担当者へ連絡、閲覧の承認を得た後、申請者へ連絡・閲覧を実施する。			

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11 第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： 第1 医療安全管理に関する基本的考え方 第2 医療安全管理委員会・組織に関する基本的事項 第3 医療安全管理のための職員研修に関する基本方針 第4 アクシデント報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 第5 重大事故発生時の対応に関する基本方針 第6 医療従事者と患者との間の情報共有に関する基本方針 第7 患者からの相談への対応に関する基本方針 第8 その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
・ 設置の有無（有・無） ・ 開催状況：年 12回 ・ 活動の主な内容： 1) 医療安全管理のための指針の策定及び改訂並びに職員への周知 2) 医療安全に係る問題の調査および分析 3) 前号の結果を活用し、改善のための方策の企画立案及び実施 4) 前号の改善のための方策の職員への周知 5) 改善のための方策の実施状況の調査および必要に応じて当該方策の見直し 6) 入院患者死亡報告および重大事故報告の状況確認及び病院長への確認結果の報告 7) 前号の実施状況が不十分な場合の職員への研修および指導 8) その他、医療に係る安全管理のための業務	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 25 回
・ 研修の内容（すべて）： 1) 医療安全・感染対策全体研修会（2024/5/21）：e-learning配信あり 職員を守る 当院の仕組みを活用しよう ①迷惑行為対策委員会について ②病院でおこるあれこれ～有明事件簿～ ③患者暴力と応召義務 2) 医療安全研修会（2025/2/20）：e-learning配信あり ①食物による窒息防止～リスク低減part 1～ 3) 医療安全・感染対策全体研修会（2024/12/18）：e-learning配信あり 1999年12月28日 私たちは忘れないこの日を 4) 新入職員研修 22回（毎月1日、16日に開催） 5) 復職者研修 都度開催	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1) 当事者又は発見者がIAレポートシステムを用いてIA報告を行う。	

- 2) RM部会でIA報告の事例共有、改善の検討または依頼をおこなう。必要時には医療安全管理委員会へ上申する。
- 3) 各部署またはRM部会にて立案した改善案を基に医療安全管理委員会で改善策を検討、決定する。
- 4) 病院管理者連絡会議や部署RM連絡会などで事例と改善策を周知する。
- 5) 改善策の実施後、モニタリングなどで改善策の効果の評価をおこなう

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
・ 指針の主な内容： 1. 院内感染対策に関する基本的考え方 2. 院内感染対策のための委員会等、院内感染対策の組織に関する基本的事項 3. 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. その他院内感染対策推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
・ 活動の主な内容： 1. 院内感染対策マニュアルの作成および最新の科学的・公衆衛生学的情報を踏まえた定期的な改訂 2. 院内感染対策の実施状況の報告と改善策の立案 3. 院内の感染症発生状況のサーベイランス結果の報告と結果を踏まえた改善策の立案 4. アウトブレイクあるいは重要感染症発生時（疑い時を含む）の状況・対応報告と改善策の立案 5. 院内感染に関する情報収集・共有および内外への情報発信の検討 6. 職業感染予防策の実施状況の報告と改善策の立案 7. 抗菌薬使用状況・多剤耐性菌等のサーベイランス情報の共有と改善策の立案 8. その他、院内感染対策及びその防止にかかわるすべての事項	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 39 回
・ 研修の内容（すべて）： 1. 新入職員研修 ⇒ 感染管理・感染症診療について（1回） 2. 看護部新採用者オリエンテーション ⇒ 感染対策について（1回） 3. 中途採用者（新採用者）オリエンテーション ⇒ 感染管理・感染症診療について/e-learning（21回） 4. 復職者研修 ⇒ 感染管理・感染症診療について/e-learning（都度開催） 5. 病院全体研修 ⇒ 2024年度第1回（開催日：2024年5月21日）（1回） - 講演1：患者・職員のワクチン接種 - 講演2：抗菌薬の適正使用について（発熱を適切に診るために） ⇒ 2024年度第2回（開催日：2024年12月18日）（1回） - 講演1：院内感染対策・抗菌薬の適正使用支援 6. 委託業者研修 ■ 清掃スタッフ研修 ⇒ 感染対策研修（5回） ■ リネンスタッフ研修 ⇒ 感染対策研修（1回） ■ 警備・設備整備スタッフ研修 ⇒ 感染対策研修（4回） ■ 中材スタッフ研修 ⇒ 感染対策研修（2回）	

- 物品管理スタッフ研修
⇒ 感染対策研修（2回）

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- 病院における発生状況の報告等の整備 （ ☒ 有 ・ 無 ）
- その他の改善のための方策の主な内容：
 1. 感染対策および感染症診療に関するコンサルテーション体制の整備
 2. 院内ラウンドを行い、感染対策に関する問題点の把握・分析、対策の立案、実施・評価
 3. 感染症発生状況および感染対策に関する情報提供（感染情報レポート・ICTニュースを作成し、院内ネットワーク掲示板に掲載）
 4. 院内感染対策マニュアルの整備
 5. 職業感染予防策の実施（ウイルス抗体価測定、ワクチン接種、針刺し・粘膜曝露対応）
 6. 手指衛生の指導と実施状況のモニタリング
 7. 院内感染対策実施のための院内の各部門・部署との連携

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	☒ ・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
・ 研修の主な内容： ・ 第1回 受講期間：2024年 7月29日（月）～9月30日（月） 研修会名：令6年度第1回 医薬品安全管理研修会 テーマ：ハイリスク薬の管理 対象職種：医師、看護師、薬剤師 参加延べ人数：1144名 ・ 第2回 受講期間：2025年3月3日（月）～2025年3月25日（火） 研修会名：令6年度第2回 医薬品安全管理研修会 テーマ：「がんサバイバーの慢性がん関連疼痛に対するオピオイド鎮痛薬の処方ルール」 「医薬品アレルギー管理体制」 対象職種：医師、看護師、薬剤師 参加延べ人数：1029名	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	・ 手順書の作成（☒・無） ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： ✓ 手順書は、医政局長通知（H19.3.30）に基づき必要事項について作成 ✓ 処方から投薬までの一連の業務手順について ✓ 医薬品の使用前の、容器やふたの損壊や異物混入等がないかの確認方法 ✓ 注射薬の混合調整を行う場合の処方せん・ラベル・注射薬の照合方法 ✓ 医薬品の保管に係る施錠管理等、盗難・紛失防止の対策 等 ・ 当該手順書に基づく業務の実施状況の確認 ✓ 病棟担当薬剤師は週1回、外来担当薬剤師は月1回、「医薬品安全使用のためのチェックリスト」を用いて状況を確認し、医薬品管理室担当者へ報告する。 ✓ 医薬品管理室担当者は、医薬品安全使用のためのチェックリストをもとに報告書を作成し、医薬品安全管理責任者へ報告する。 ✓ 医薬品安全管理責任者は、月1回 院内をラウンドし、手順書に基づく業務の実施状況を確認する。ラウンド時の指摘事項については、次回ラウンド時に改善状況を確認する。 ✓ 手順書は、医薬品安全管理委員会にて、年1回見直しを行っている
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	・ 医薬品に係る情報の収集の整備（☒・無） ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： ・ 適応外使用報告：483件 ・ 報告等から未承認新規医薬品等管理部への申請対応となった案件：8件 水疱性類天疱瘡治療に対するモフェチル デスモイド腫瘍に対するビンブラスチン、メトトレキサートの併用療法 間質性肺疾患の急性増悪に対するシクロホスファミド カルチノイド症候群（クリーゼ）に対するオクトレオチド大量療法 ルテチウムオキソドトレオチドの腫瘍増悪時における4回を超える投与

尿膜管癌に対するテガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム、シスプラチン
胸腺癌に対するカルボプラチン、パクリタキセルの併用療法
胚細胞腫に対するカルボプラチン、エトポシドの併用療法

・ その他の改善のための方策の主な内容：

- * PMDAやメディナビ、SAFE-DIに登録し採用医薬品（非採用医薬品含む）の情報収集
- * 学会誌や業界誌（日刊薬業、メディファックス等）の定期購読による情報収集
- * 採用医薬品の販売メーカー担当MRとのWEB面談での情報収集
- * 近隣連携施設（病院、保険薬局含む）との定期面談による情報収集
- * 医薬品情報担当薬剤師と臨床担当薬剤師等からの副作用発生等の情報共有・把握
- * 適応外使用に該当する注射薬を含む化学療法レジメン適応症例の把握体制
- * 学会誌や業界誌（日刊薬業、メディファックス等）の定期購読による情報収集
- * 採用医薬品の販売メーカー担当MRとのWEB面談での情報収集
- * 近隣連携施設（病院、保険薬局含む）との定期面談による情報収集
- * 医薬品情報担当薬剤師と臨床担当薬剤師等からの副作用発生等の情報共有・把握
- * 適応外使用に該当する注射薬を含む化学療法レジメン適応症例の把握体制

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	☒ 有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年65回
・ 研修の主な内容 : ・ 研修の主な内容 : ・ 人工呼吸器の取扱いについて ・ 血液浄化装置の取扱いについて ・ 除細動器の取扱いについて ・ 輸液ポンプ・シリンジポンプの取扱いについて ・ リニアックの取扱いについて ・ 診療用放射線治療装置の取扱いについて ・ 新規導入医療機器の取扱いについて	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 (☒ 有 ・ 無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容 : ・ 委託業者による定期点検及び当院臨床工学技士による自主点検 ・ 人工呼吸器 ・ 血液浄化装置 ・ 除細動器 ・ 診療用高エネルギー放射線発生装置 ・ 診療用放射線照射装置 ・ 医用 X 線 C T 装置	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無) ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例 (あれば) : ・ その他の改善のための方策の主な内容 : ・ 安全情報については行政・PMDAからの情報を確認、また、製造販売業者からの通知、新聞記事などから情報収集し、当院該当機器については医療機器安全管理委員会で検討し、各部署へ通知する。また、電子カルテ上に医療機器安全管理の掲示板を設置し、随時情報を職員に提供している ・ その他の改善のための方策の主な内容 : ・ その他の改善のための方策の主な内容 : ・ 安全情報については行政・PMDAからの情報を確認、また、製造販売業者からの通知、新聞記事などから情報収集し、当院該当機器については医療機器安全管理委員会で検討し、各部署へ通知する。また、電子カルテ上に医療機器安全管理の掲示板を設置し、随時情報を職員に提供している	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
・ 責任者の資格（医師・歯科医師） ・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 医療安全管理責任者は、医療安全管理委員会の委員長を務めている。委員会の運営において、委員として参加している「医薬品安全管理責任者」、「医療機器安全管理責任者」、「医療放射線安全管理責任者」に活動状況を報告させている。また、医療クオリティマネジメントセンター長として「医療安全管理部」ならびに「院内感染対策部」を統括している。	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（ 7名）・無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 ・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 ✓ 医薬品情報室担当薬剤師は、医薬品に関する情報を整理し、医薬品安全管理責任者へ報告する ✓ 医薬品安全管理責任者は、必要に応じて、医薬品安全管理委員会で医薬品安全使用に係る対策を検討し、医療安全管理委員会、病院運営会議、診療部長会議等で報告周知を行う ✓ 医薬品情報室担当薬剤師は、病棟担当薬剤師と連絡会議を開催し、医薬品安全使用に係る情報を共有する。 ✓ 病棟担当薬剤師は、情報のレベルに応じて、医師や看護師へ情報提供を行う ・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況 ・ 治験/臨床研究 → IRB（臨床研究等倫理審査委員会）で審議、承認 ・ 試薬等を用いる特殊院内製剤 → 薬事審議委員会で審議、承認。その後、未承認新規医薬品等評価委員会で審議、承認。 ・ 患者の持込み等（例：入院時の薬剤師による持参薬確認等で把握） → 使用に際しては未承認新規医薬品等評価委員会で審議、承認 ・ 適応外使用医薬品 → 当該使用のリスク等を考慮して未承認新規医薬品等評価委員会で審議、承認 ・ 担当者の指名の有無（有・無） ・ 担当者の所属・職種： （所属：医薬品安全管理委員会 ， 職種 医師、看護師、薬剤師、事務（QMC スタッフ、購買課））	

(所属：医薬品情報室 , 職種 薬剤師)	
(所属：医薬品管理室 , 職種 薬剤師)	
(所属：未承認新規医薬品等評価委員会, 職種 医師、看護師、薬剤師、事務 (QMCスタッフ))	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	☒ 有 ・ 無
・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (☒ 有 ・ 無) ・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：同席者・説明項目等、説明文書に用いる項目については、医療安全マニュアルで定めている。説明実施の確認は、診療情報管理委員会にて行う診療情報監査項目に含められており IC 委員会による監査を代行している。監査結果は各診療科部長に連絡し、病院管理者連絡会及び IC 委員会にて結果報告している。改善が必要な内容に関しても各診療科部長へ指導を行っている。	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	☒ 有 ・ 無
・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 診療録等の管理や記載内容の確認及び指導は、診療情報管理委員会が統括し、IC 委員会と診療情報管理室および関連する院内各部が連携して実施した。 診療情報監査は、委員長 1 名と医師委員 3 ～ 6 名による主査副査方式による診療録質的監査と、薬剤師による薬剤管理記録監査、栄養管理部による栄養管理記録監査、看護部による看護記録監査、診療情報管理士による診療録等の量的監査から構成される。量的監査は全診療科 1 ヶ月分的全退院患者の診療記録を対象とする。質的監査は、毎月当該診療科をしてつきに退院患者から 3 ～ 6 名を量的監査結果より抽出して実施する。また IC 委員会の代行として、説明同意の内容記録についても監査する。 上記の監査結果は診療情報管理委員会にて審議し、当該診療科部長と診療科診療情報管理委員会委員医師へ報告し、不備については改善を勧告し、月次開催される病院管理者連絡会議と IC 委員会報告する。また、翌月の委員会で委員からフィードバック後の報告を受けている。特に問題のある診療記録内容については、再監査を行い診療情報管理委員会委員長が、当該医師・職員に面談し口頭指導する。看護記録監査は看護部より手順により全看護師が参加して行っている。 質的監査（医師） ① 記載原則：記載された順に従って閲覧するだけで患者の全体像が把握できる。診療行	

為に対する病名がプログレスノートに記載されている。診療の都度、遅滞なく速やかに記載されている。適切に SOAP 形式を用いて記載されている。外国語・略語は適切に使用されており、誤字・脱字が認められない。事実を正確かつ客観的に記載し、あいまいな表現をしていない。医師・スタッフの私的メモや忘備録、感情的な記録など不適切な表現がない。

- ② IC の記載：適切なタイミングで IC が実施され、記載されている。病名・病態の説明がされている。治療や検査の目的・必要性の説明がされている。治療や検査の内容の説明がされている。期待される効果の説明がされている。予測される毒性等の説明がされている。同席基準に基づき病院側の同席者（看護師など）が記載されている。
- ③ 傷病名の記載：正しい病名登録がされている。入院の契機となった主病名・副病名が的確である。
- ④ 入院期間中の記載：診察の記録だけでなく、処置や処方指示の記載・変更・訂正が正しく行われて記載されている。
- ⑤ 加算算定に関する記載：肺血栓塞栓症予防に関するリスク評価が行われ、記載がされている。
- ⑥ 入院診療計画書：入院診療計画書には個々の患者に応じた病名や、症状、治療計画が記載されている。
- ⑦ 退院サマリー：記載内容の評価として、正確かつ他者から見て理解できる内容である。必要項目が記載されている。
- ⑧ 投薬時の記載：投薬時に正しく診療内容が記載されている。

質的監査内容（看護部）

看護記録監査基準に則り監査を行う。

質的監査内容（薬剤部）

- ① 記載原則：患者指導の都度、遅滞なく速やかに記載されている。適切なプロブレムが挙げられている。SOAP 形式で記載されている。日本語で記載されており、外国語・略語（院内ルールで規定されているもの以外）は使用していない。コピー＆ペーストは多用されていない。事実を正確かつ客観的に記載し、あいまいな表現をしていない。誤字・脱字が認められない。医師・スタッフの私的メモや忘備録は記載されていない。感情的な記録など不適切な表現がない。

- ② 薬剤管理指導算定の記録：薬剤管理指導実施の文言がある。プロブレムリストを用いている（プロブレムが2個以上あるときは、分けて記載）。抗血栓薬がある場合はテンプレートを用いて評価している。
- ③ 手術患者への記載内容：手術日、術式の記載がある。術前中止薬の有無、薬剤アレルギー、既往歴の記載がある。パスを使用するにあたっての注意すべき疾患の有無。パス説明実施、理解度、薬剤についての評価が記載されている。術前中止薬の再開の確認がされている。
- ④ がん化学療法患者への記載：経過日、検査値、バイタル、糖尿病、B型肝炎の抗体・抗原についての記載がある。がん患者指導テンプレートを用いている。Grade 2以上の有害事象について評価されている。
- ⑤ 麻薬加算について：オピオイドの服薬状況について記載がある。NRS、疼痛部位について記載がある。
- ⑥ 退院時指導について：退院処方説明実施と理解度の記載がある。
- ⑦ 入院診療計画書：薬剤師の氏名、指導計画への記載がある。指導計画への記載がある。
- ⑧ 薬剤管理指導記録：癌患者指導管理テンプレートを使用している

質的監査内容（栄養管理部）

- ① 栄養指導：栄養指導実施の記録（指示内容、実施時間）がなされている。医師の指示記録・栄養指導の記録・栄養指導時間の記録・対象は特別食提供、がん、摂食機能又は嚥下機能低下、低栄養のいずれかの記載があるか
- ② 栄養サポートチーム：初回栄養スクリーニングシートの作成、カンファレンスの記録（参加者、計画案）、栄養治療実施計画の作成がなされている。栄養治療実施計画があるか。診療情報提供書作成時、栄養治療実施計画が送付されているか。
- ③ 食事：医師の指示記録があるか。特別食加算時は特別食を提供しているか。特別食加算時は病態が算定要件を満たしているか。
- ④ 早期栄養介入管理加算：栄養アセスメント・計画・計画に基づく栄養管理の実施内容の記載があるか。入室時刻と経腸栄養開始時刻の記載があるか。

量的監査（診療情報管理員）

① カルテ記載：入院期間中にプログレスノートへの記載がある。 ② 手術記録：手術記録の記載がある。 ③ 手術看護記録：手術看護記録の記載がある。 ④ 麻酔記録：麻酔記録の記載がある。 ⑤ 部長回診：入院期間に部長回診テンプレートに記載がある。 ⑥ 退院サマリー：退院後 14 日以内に作成されている。 ⑦ 入院診療計画書 1. 入院日より 7 日以内に患者署名入りの入院診療計画書が電子カルテへ取り込まれている。 2. 氏名が記載されている。 3. 特別な栄養管理が有の場合、栄養管理計画書の作成されている。 ⑧ 退院支援計画書：対象患者の取込がある。 ⑨ 看護サマリー：看護サマリーが承認されている。 ⑩ 栄養管理計画書 1. GLIM 非対応のチェックが正確である。 2. 褥瘡に関する記載がなされている。 3. 栄養補助食品の有無の記載がなされている。 4. 栄養価が適切である。 5. 退院評価がチェックされている。 ⑪ 褥瘡診療計画書：栄養管理計画書で対応の記載が正確である。 ⑫ 緩和ケア：加算取得者に対して栄養食事管理の内容の記載がある。 栄養サポートチーム：カンファレンスの参加者が正確である。	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	☒ 有・無
・ 所属職員：専従（5）名、専任（ ）名、兼任（4）名 うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（3）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち臨床工学技士：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち診療放射線技師：専従（ ）名、専任（ ）名、兼任（1）名 （注）報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること ・ 活動の主な内容：	

- 1) 専従の医師：看護師・薬剤師による医療安全に関する職員の意識の向上や指導のための教育・研修の実施
- 2) 医療事故防止の取り組み。日々のインシデント・アクシデント報告をもとに、情報収集・分析・対策の立案、必要な指導を実施。
- 3) 医療安全管理委員会で検討を行う事例の調査並びに資料作成
- 4) 医療安全通信の発行や医療事故情報の配信
- 5) 院内死亡および重大事例への対応。事実の確認と検証を行い、有害事象調査委員会の資料作成および再発防止策の検討、策定、評価の実施。
- 6) 日本医療機能評価機構、医薬品医療機器総合機構などへの事故等報告書の作成および報告。
- 7) 週1回、院内4か所の医療安全ラウンドを実施し、職員の医療安全に関する知識や実際の現場状況を確認
- 8) 部署リスクマネージャー連絡会、リスクマネージャー部会の開催、M&Mカンファレンス開催
- 9) 医療安全研修会の企画立案および実施
- 10) 新入職員ならびに復職者への研修の実施（中途採用を含む）
- 11) 医療安全外部監査委員会の実施
- 12) 特定機能病院間の相互訪問の実施

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（2件）、及び許可件数（2件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ ☒ 有 ・ 無 ）
- ・ 活動の主な内容：
 - 1) 高難度新規医療技術評価委員会に対し、高難度新規医療技術の提供の適否、実施の条件等について意見を求め、高難度新規医療技術の提供の適否、実施条件等を決定する。
 - 2) 定期的な手術記録、診療録等の記載内容の確認等、高難度新規医療技術の提供に関する従業者の遵守状況を確認する事。
 - 3) 病院長への定期的な報告。

4) 委員会の審査資料、議事録、遵守状況の確認の記録の保管。

・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (☒ 有 ・ 無)

・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無 (☒ 有 ・ 無)

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数 (16 件)、及び許可件数 (16 件)

・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無 (☒ 有 ・ 無)

・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無 (☒ 有 ・ 無)

・ 活動の主な内容：

1) 未承認新規医薬品等評価委員会に対し、使用の適否、使用条件等について意見を求め、未承認新規医薬品等の院内で定めたリスク分類を踏まえ、使用の適否、使用条件等を決定する。

2) 定期的な診療録等の記載内容の確認等、その使用についての遵守状況の確認

3) 未承認新規医薬品等の使用患者における重篤な有害事象及び死亡症例の対応

4) 病院長、医療安全管理責任者への定期的な報告、遵守状況、有害事象・死亡報告の対応では随時報告

5) 委員会の審査資料、議事録、遵守状況の確認の記録の保管

・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (☒ 有 ・ 無)

・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (☒ 有 ・ 無)

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 402 件

・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 262 件

・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

オンラインシステムを用いて、担当医が医療安全管理部へ死亡報告書を提出する。医療安全管理部では報告書の記載内容を確認し、さらに情報収集も行いリスト化し、病院長へ毎日報告を行う。医療安全管理委員会では、定例議題として前述の入院患者死亡報告及び重大事象報告を共有してお

り、医療安全管理部が確認した内容と共に各事例を検討・評価し、医療安全管理委員会委員長（医療安全管理責任者）が検討・評価結果を添えて病院長へ報告する。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（☒有（病院名：獨協医科大学病院））・無）
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（☒有（病院名：獨協医科大学病院））・無）
- ・技術的助言の実施状況

メーカーが添付文書でX線照射を禁止しているX線非対応の体表面機器について、患者が院内に掲示している注意喚起を促す掲示に気付かない場合には、患者が機器を装着したま撮影が実施されて機器が故障や誤作動を起こす危険性があるとの助言に対し、CTとMRI検査の問診表と同意書を改訂し患者が院内掲示に気付けない可能性に配慮した改訂を行うことなどに対応する方針とし、現在作成中である。また、核医学やCT検査、マンモグラフィ検査では患者が更衣を行う際に診療放射線技師が問診と目視でX線非対応の表面医療機器を使用しているか否かの確認と対応を実施している他、検査室の中待ちや各外来ブロックにデジタルサイネージを設置して、X線非対応の表面医療機器を使用している患者に向けたメッセージを掲示する体制とした。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況
- ・体制の確保状況

◆患者相談窓口の設置（看護師2名、MSW1名、事務職員1名）

外来休診日を除く毎日9時～17時、相談に応じている

◆患者相談窓口の活動に関する患者等への明示（ポスター）

患者相談窓口の活動の趣旨、設置場所、担当者・責任者、対応時間を明記

◆患者相談窓口規約の整備

◆相談者への適切な配慮（患者・家族が不利益を受けないよう記載内容には配慮する）

◆相談窓口以外の相談受付方法 電話相談、投書箱、お問い合わせメール、手紙

◆相談の処理方法：記録したものを電子カルテ内ファイルサーバーで管理、管理者への報告、各部署との連携、安全対策・業務等の見直しへの活用

◆相談内容の共有：患者相談窓口カンファレンス（1回／週）開催、カンファレンス参加メンバー以外に上層部へ報告書の回覧（1回／月）、TCC会議（1回／月）、患者参画医療推進委員会（合理的配慮の場合は1回／月）、QMC運営委員会（1回／月）へ事例と改善について報告

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

1. 全体研修会（2回）
 - 2024年度第1回（開催日：2024年5月21日）
講演1：迷惑行為防止対策委員会
講演2：病院で起こるあれこれ～有明事件簿～
講演3：患者暴力と応招義務
 - 2024年度第2回（開催日：2024年12月18日）
講演1：1999年12月28日私達はわすれないこの日を
2. 医療安全研修会（1回）
 - 2024年度第1回（開催日：2025年2月20日）
食物による窒息防止に向けての取り組み紹介
講演1：歯科で行う高齢者の口腔機能評価について
講演2：食物による窒息リスク評価とその対応
3. 新入職員研修（22回）
 - 医療安全とリスクマネジメントについて/e-learning
 - ※ 毎月1日及び16日に開催
4. 復職者研修（都度開催）
 - 医療安全とリスクマネジメントについて/e-learning

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

【管理者】

役職・氏名： 病院長 佐野 武

研修会名： 公益財団法人日本医療機能評価機構「2024年度特定機能病院管理者研修」

受講日： 2024年12月12日

【医療安全管理責任者】

役職・氏名： 副院長/泌尿器科/医療クオリティマネジメントセンター長 米瀬淳二

研修会名： 公益財団法人日本医療機能評価機構「2024年度特定機能病院管理者研修」

受講日： 2025年2月3日

【医薬品安全管理責任者】

役職・氏名： 院長補佐/薬剤部長/麻薬管理責任者 山口正和

研修会名： 公益財団法人日本医療機能評価機構「2024年度特定機能病院管理者研修」

受講日： 2024年12月12日

【医療機器安全管理責任者】

役職・氏名：ME センター長/頭頸科部長 三谷浩樹

研修会名：公益財団法人日本医療機能評価機構「2024 年度特定機能病院管理者研修」

受講日：2024 年 11 月 26 日

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・ 第三者による評価の受審状況

【受 審 日】2022 年 5 月 18 日・19 日・20 日

【受審種別】一般病院 3

【経過と結果】

■2022 年 9 月 27 日：補充的審査 受審

■2022 年 11 月 4 日：「一般病院 3」…条件付認定

(認定期間：2022 年 2 月 19 日 ～ 2023 年 6 月 30 日)

【改善指摘事項と指摘事項に対する取り組み】

1.4.2 SSI 及びデバイス関連サーベイランスの拡大に向け、貴院が補充的審査で提示した改善策を継続的に実践してください。

➡(評価を踏まえた措置内容) SSI サーベイランスについて、以前より継続している大腸外科に加え、大半の外科系診療科を段階的に対象として追加している。

1.5.4 医薬品の禁忌・適応外使用において、説明文書の内容、管理部による把握・確認について貴院が補充的調査で提示した改善策を継続的に実践してください。

➡(評価を踏まえた措置内容) 対象となる医薬品についてリスク分けを行い、リスク分類の規定に従って使用時の報告書の提出を求めモニタリングを実施している。また、IC 委員会との連携を密にし説明文書の管理等を厳密に行っている。

3.1.6 診療記録の量的点検項目を拡充した上で、全退院患者に対する点検を確実に実施してください。

➡(評価を踏まえた措置内容) 量的診療録監査は、全退院患者について、診療情報管理室にて以下の 8 項目について量的診療録監査を毎日行っている。項目は、毎日のカルテ記載の有無・手術記録の有無・麻酔記録の有無・看護手術記録の有無・入院診療計画書の有無・退院サマリの有無・看護サマリの有無・退院支援計画書である。量的診療録監査結果は、診療情報管理委員会において審議し、各部署診療科にフィードバックし、病院管理者連絡会で報告している。

■2023 年 7 月 5 日：確認審査 受審

■2023 年 9 月 1 日：「一般病院 3」…認定留保。6 ヶ月後に再審査受審となった。

【改善指摘事項と指摘事項に対する取り組み】

1.4.2 全病棟対象の CAUTI サーベイランスを早急に開始し、継続的に実践してください。

➡（評価を踏まえた措置内容）2023 年 7 月の審査結果を受け、CAUTI サーベイランスの開始を前倒しすることを決定。分母情報の取得のためにシステム改修が必要となり、2023 年 10 月から可能となった。遡ることが可能であった 2023 年 8 月分から集計を開始。

他のサーベイランスと同様に、毎月の院内感染対策委員会での報告を開始した。

■2024 年 4 月 12 日：再審査受審

【結果】認定

- ・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

がん研究会有明病院ホームページ掲載

- ・評価を踏まえ講じた措置

本審査時に、全病棟を対象とした CAUTI サーベイランスが実施されていないことについて指摘を受けてシステム改修を行い、2023 年 10 月に CAUTI サーベイランスが実施可能となり、分析結果は毎月の院内感染対策委員会に報告している。

尚、SSI サーベイランスは計画通り対象診療科の拡大に取り組んでおり、2024 年 3 月時点で、2023 年度に新設した脳神経外科を除く、すべての外科系診療科で実施している。

（注）記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準 ・ 基準の主な内容 1. 当院に求められる使命を遂行するために必要な資質・能力を有している者 当会の使命、価値観、将来展望への理解、その実現にむけたリーダーシップの 発揮、継続的かつ確実に病院経営を推進する姿勢と指導力等 2. 医療安全確保のために必要な資質・能力を有している者 医療安全管理業務の経験や、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力等 3. 病院の管理運営に必要な資質・能力を有している者 当院内外での組織管理経験、高度な医療を担う医療機関の管理運営上必要な資 質・能力等 4. 高度先進医療開発のため、臨床研究について十分な知見を有し、関係する 法律や倫理指針を遵守し、病院長として臨床研究を実践・指導する能力を有し ている者 5. 医師免許を有していること ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (☒ 有 ・ 無) ・ 公表の方法 公益財団法人 がん研究会ホームページ https://www.jfcr.or.jp/press_release/disclosure/index.html

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・無 ☒			
・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (☒ 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (☒ 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (☒ 有 ・ 無) ・ 公表の方法 公益財団法人 がん研究会ホームページ https://www.jfcr.or.jp/press_release/disclosure/index.html				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関 係
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の
設置及び運営状況

合議体の設置の有無			☒ ・無
・合議体の主要な審議内容 病院運営会議・・・病院の運営に関する重要事項について 経営会議・・・経営に関する基本事項及び重要な個別業務の執行に関する事項 ・審議の概要の従業者への周知状況 病院管理者連絡会議で、各部門リーダーに伝達 院内グループウェア（デスクネッツ）で周知 デジタルサイネージで周知 ・合議体に係る内部規程の公表の有無（ ☒・無 ） ・公表の方法：閲覧の申し込みがあれば対応 ・外部有識者からの意見聴取の有無（ ☒・無 ） 理事会・評議員会で報告し、意見を聴いている。			
合議体の委員名簿（病院運営会議）			
氏名	委員長 （○を付す）	職種	役職
佐野 武	○	医師	病院長
渡邊 雅之		医師	副院長/消化器外科部長
米瀬 淳二		医師	副院長/泌尿器科部長
山口 研成		医師	副院長/消化器化学療法科部長
清水 多嘉子		看護師	副院長/看護部長
高橋 祐		医師	院長補佐/肝胆膵外科部長
高野 利実		医師	院長補佐/乳腺内科部長
陳 劉松		医師	院長補佐/外来化学療法部長
志賀 太郎		医師	院長補佐/総合診療部長
布部 創也		医師	院長補佐/消化器外科胃外科部長
丸山 大		医師	院長補佐/血液腫瘍科部長
笹平 直樹		医師	院長補佐/肝胆膵内科部長
後藤田 卓志		医師	院長補佐/上部消化管内科部長
大橋 学		医師	院長補佐/手術部部長
山口 正和		薬剤師	院長補佐/薬剤部長
笹平 直樹		医師	院長補佐/消化器内科肝・胆・膵内科部長
山本 晃史		総合職	院長補佐/人事部長/総務部長
竹山 聡		総合職	医事部長
田中 正典		総合職	健診センター運営部長

合議体の委員名簿（経営会議）

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
浅野 敏雄	○	総合職	理事長
野田 哲生		研究員	常務理事/研究本部長
佐野 武		医師	常務理事/病院長(病院本部長)
河本 上総		総合職	理事/経営本部長
藤田 直也		研究員	化療センター所長
清水 多嘉子		看護師	副院長/看護部長
渡邊 雅之		医師	副院長/消化器外科部長
米瀬 淳二		医師	副院長/泌尿器科部長
山口 研成		医師	副院長/消化器科学療法科部長
竹内 賢吾		研究員	研究所 副所長
広田 亨		研究員	研究所 副所長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ ☒ ・ 無 ）
- ・ 公表の方法
- ・ 規程の主な内容
ホームページで公開
- ・ 規程の主な内容

第10条 病院本部長（本部長代行）は、理事長の命を受けて、病院本部の業務を統括する。

2 病院副本部長、病院本部長補佐は、病院本部長を補佐するものとし、病院本部長に事故があるとき、又は病院本部長が欠けたときは、病院副本部長、病院本部長補佐が職務を代行する。

3 病院長（病院長代行）は、病院本部長の命を受けて、病院の業務を掌理し、管理及び運営に必要な人事及び予算執行を行う。

- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

4 副院長は、病院長の職務を円滑に遂行させるため、病院の管理運営等に関する企画立案に関わるとともに、診療、安全、人事、労務、財務、接遇、看護体制、教育、研修、研究等に関する職務等を補佐・分担するものとし、病院長に事故があるとき、又は病院長が欠けたときは、副院長が職務を代行する。

5 病院長補佐は、副院長とともに病院長の職務を補佐する。

6 センター長は、病院長の命を受けて、それぞれのセンターの業務を掌理する。

7 副センター長はセンター長を補佐するものとし、センター長に事故があるとき、又はセンター長が欠けたときは、副センター長が職務を代行する。

- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

●在宅勤務実施にあたっての研修（eラーニング）

2020年5月～ 随時実施

対象者：在宅勤務を実施する管理監督者は全員必須

●人事考課（中間） eラーニング 考課者研修

2024年8月29日～2024年9月30日

対象者：管理監督者全員

●他職種管理職研修

2024年9月29日

対象者：薬剤師・看護師・研究員・技師・事務管理職（部長・副部長・課長・室長・技師長）

内容：マネジメント・人事労務管理・上司マネジメント・リーダーシップ

●医師管理職研修

2024年10月20日

対象者：医師管理職（部長・副部長・医長）

内容：マネジメント・人事労務管理

●人事考課（期末） eラーニング 考課者研修

2025年2月14日～2025年3月31日

対象者：管理監督者全員

コンプライアンス室実施分

○ 全職員向けコンプライアンス研修（e-learning研修）

期 間：2024年11月6日～12月31日

対象者：がん研究会全職員（管理監督者も含む）

○ 管理職向けハラスメント研修（e-learning研修）

期 間：2025年3月10日～3月28日

対象者：がん研究会管理監督者（医長以上）全員

規則第 15 条の 4 第 1 項第 2 号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況				☒ ・無	
・ 監査委員会の開催状況：年 2 回 ・ 活動の主な内容： 1) 医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療放射線安全管理責任者、その他必要と認める者の状況について、管理者等から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施する。 2) 必要に応じ、当院の開設者又は管理者に対し、医療にかかわる安全管理についての是正措置を講ずるよう意見表明を行う。 3) 上記に掲げる業務について、その結果を公表する。 ・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ ☒・無 ） ・ 委員名簿の公表の有無（ ☒・無 ） ・ 委員の選定理由の公表の有無（ ☒・無 ） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ ☒・無 ） ・ 公表の方法： 当院ホームページにて公表 https://www.jfcr.or.jp/hospital/safety_audit/index.html					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 （○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
長尾 能雅	名古屋大学医学部附属病院患者安全推進部教授	○	医療安全に関する業務及び研究への従事経験を有するため	有・ ☒ 無	1（医師）
大滝 恭弘	帝京大学医療共通教育研究センター教授		法曹資格を有し、医療安全に関する研究を行っているため	有・ ☒ 無	1（弁護士）
瀧澤 邦夫	有明友の会理事		患者団体の理事を務めており、医療を受ける者の立場の代表となるため	有・ ☒ 無	2（医療を受ける者）
				有・無	

				有・無	
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・ 体制の整備状況及び活動内容

- 監事会による監査
- 理事会への監事の出席
- 外部監査人による監査の実施
- 内部監査室による監査の実施
- がん研なんでも相談所の設置と運営
- コンプライアンス委員会の開催

・ 専門部署の設置の有無（ ☒ ・ 無 ）

・ 内部規程の整備の有無（ ☒ ・ 無 ）

・ 内部規程の公表の有無（ ☒ ・ 無 ）

・ 公表の方法

- 閲覧等の申込みがあれば対応

規則第 15 条の 4 第 1 項第 3 号ロに掲げる開設者による
業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 理事会を月 1 回開催（8 月以外）し、主として病院の経営状況等、病院運営に関する重要事項について監査。 ・ 会議体の実施状況（ 年8回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ ☒有・無 ）（ 年8回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ ☒有・無 ） ・ 公表の方法：閲覧の申込みがあれば、対応。			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：理事会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
浅野 敏雄	(公財)がん研究会 理事長	○	☒ 有・無
佐野 武	(公財)がん研究会 常務理事・病院本部本部長・有明病院病院長		☒ 有・無
河本 上総	(公財)がん研究会 常務理事・経営本部本部長		☒ 有・無
大津 敦	(公財)がん研究会 研究本部本部長・がんプレジジョン医療研究センター所長		☒ 有・無
石岡 千加史	J R 仙台病院 院長		有・ ☒ 無
市川 秀夫	昭和電工(株) (現 (株)レゾナック・ホールディングス) 元社長・会長		有・ ☒ 無
伊藤 かつら	元日本マイクロソフト株式会社 執行役		有・ ☒ 無
伊東 信一郎	ANA ホールディングス(株) 特別顧問		有・ ☒ 無
内田 幸雄	ENEOS ホールディングス(株) 名誉顧問		有・ ☒ 無
柿木 厚司	JFE ホールディングス(株) 特別顧問		有・ ☒ 無
加藤 治彦	四季株式会社(劇団四季) 取締役		有・ ☒ 無
工藤 泰三	日本郵船(株) 特別顧問		有・ ☒ 無
國土 典宏	国立健康危機管理研究機構 (JIHS) 理事長		有・ ☒ 無
齊藤 光江	順天堂大学医学部乳腺腫瘍学講座 特任教授		有・ ☒ 無

高岡 英則	三菱金曜会 事務局長		有・無
広瀬 道明	東京ガス(株) 相談役		有・無
松田 美紀子	元慶應義塾大学病院 事務局長 ・看護部長		有・無
宮園 浩平	東京大学医学系研究科 客員教授		有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 通報件数（年 〇 件） ・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ ☒ 有 ・ 無 ） ・ 周知の方法 ○ 医療安全マニュアルへの掲載及び配布 ○ 入職時研修会での共有・院内グループウェア（デスクネッツ）への掲載